

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が 2014 年 7 月 30 日に発表した 2014 年度上半期決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本文書と英文リリースとの間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements> よりご覧いただけます。

# Barclays PLC Results Announcement

30 June 2014

バークレイズ・ピーエルシー  
2014 年度上半期決算報告書

2014 年 7 月 30 日発表

# 目次

---

決算報告書	ページ
業績ハイライト	3-5
グループ最高責任者によるご挨拶	6
グループ財務担当取締役のレビュー	7-9
要約連結財務書類(未監査)	10-14
<b>事業部門別業績</b>	
• パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	15-16
• インベストメント・バンク	17-19
• バークレイズ・ノンコア	20-21
<b>四半期業績</b>	22-23
<b>業績管理</b>	
• リターンと資本	24-25
• 利ざやおよび残高	26
<b>リスク管理</b>	27
• 資金調達リスク－流動性	27-29
• 資金調達リスク－資本	30-35
• 信用リスク	36-40
• 市場リスク	41-42
<b>財務書類に関する注記(抜粋)</b>	
• 引当金(原文注記 11)	43-44
• セグメント別開示引当金(原文注記 19)	45-46

### 損益計算書

#### グループの業績

- 調整後税引前利益は 7%減少し、33 億 4,900 万ポンドとなりました。パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)、パークレイカード、パークレイズ・ノンコア(BNC)の各部門の改善により一部相殺されたものの、為替の変動とインベストメント・バンク部門の減益と収益性の低下を主に反映しています。
- 調整後収益は 12%減少し、133 億 3,200 万ポンドとなりましたが、減損費用が 33%減少し、10 億 8,600 万ポンドとなったことで、営業収益純額は 9%減の 122 億 4,600 万ポンドとなりました。
- 調整後営業費用は Transform 達成費用 4 億 9,400 万ポンド(2013 年: 6 億 4,000 万ポンド)と訴訟および特定行為に係る費用 2 億 1,100 万ポンド(2013 年: 1 億 2,600 万ポンド)を含め、9%減少し、88 億 7,700 万ポンドとなりました。これまでの Transform の取り組みによる費用削減および為替変動の影響を反映しています。
- 法定税引前利益は 25 億 100 万ポンドとなりました(2013 年: 16 億 7,700 万ポンド)。支払保障保険(PPI)に係る補償引当金の 9 億ポンドの追加繰入れを行いました(2013 年: 13 億 5,000 万ポンド)、前年(2013 年: 6 億 5,000 万ポンド)と比べ、金利ヘッジ商品に係る補償引当金が発生しなかったことを反映しています。
- グループの調整後株主帰属利益は 17 億 6,000 万ポンド(2013 年: 20 億 5,500 万ポンド)となり、グループの調整後平均株主資本利益率は 6.5%に低下しました。(2013 年: 7.8%)。パークレイズ・ノンコア部門の改善によって部分的に相殺されたものの、2013 年度第 4 四半期の新株予約権無償割当による株式の発行およびコア部門の税引前利益が減少したことにより、ます。

#### コア部門の業績

- 税引前利益は 10%減少し、38 億 4,000 万ポンドとなりました。コア部門のビジネスの大半の業績が改善したものの、それを相殺できる以上にインベストメント・バンク部門の減益が大きかったことにより、ます。
- 収益は 7%減少し、126 億 7,400 万ポンドとなりました。パークレイカードおよびパーソナル・アンド・コーポレート・バンキングの増収により一部相殺されましたが、マーケット事業を中心とするインベストメント・バンク部門の 18%の減収と為替の変動によるアフリカ・バンキング部門の減収を反映しています。PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキング各部門の利息収入純額は大幅な経費削減、モーゲージとカードの伸びを反映し、3%増加し、55 億 6,400 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は 13%改善し、9 億 3,700 万ポンドとなりました。これは経済環境の改善が英国のリテールおよびホールセール・ポートフォリオの大部分に好影響を与えたことで PCB 部門の減損が減少したことと恒常通貨ベースでアフリカ・バンキング部門のモーゲージの減損が減少したことを反映しています。
- 営業費用は 3 億 7,000 万ポンド減少し、79 億 4,400 万ポンドとなりました。より多くの Transform 達成費用 4 億 5,300 万ポンド(2013 年: 2 億 2,300 万ポンド)と訴訟および特定行為に係る費用 1 億 7,700 万ポンド(2013 年: 8,600 万ポンド)によって一部相殺されたものの、Transform の取り組みの結果としての全ての事業部門における改善と為替の変動を反映しています。
- コア部門の株主資本利益率は 11.0%に低下しました。(2013 年: 15.1%)

#### ノンコア部門の業績

- 税引前損失は 27%減少し、4 億 9,100 万ポンドとなりました。減損費用が 1 億 4,900 万ポンドと 4 億 700 万ポンド減少したこと、Transform 達成費用が 4,100 万ポンド(2013 年 4 億 1,800 万ポンド)に減少したことを含め、営業費用が 36%減少し 9 億 3,400 万ポンドになりましたが、それ以上に資産売却とリスクの削減によって、収益が 6 億 5,800 万ポンドに減少(2013 年: 14 億 7,400 万ポンド)したことにより、ます。
- ノンコア部門の株主資本利益率の低下への影響度は 4.5%に改善しました。(2013 年: 7.3%)

#### 貸借対照表、レバレッジ、資本管理

- CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier1(CET1)資本比率はノンコア部門のリスク調整後資産の減少を主因に 9.9%に上昇しました(2013 年: 9.1%)。
- ブルーデンス(健全性)規制機構(PRA)レバレッジ比率は 3.4%に上昇しました(2013 年: 3.0%)。PRA レバレッジ・エクスポージャーが 990 億ポンド減少し 1 兆 2,660 億ポンドになったこと、そして既存 T1 証券の新規 AT1 証券への交換を主因とする適格 PRA 調整後 Tier 1 資本の 432 億ポンドへの増加(2013 年: 405 億ポンド)を反映しています。推計バーゼル銀行監督委員会(BCBS)270 条レバレッジ比率は 3.4%でした。
- 発行済株式数の増加および為替換算再評価差額の減少を主因に、1 株当たりの正味有形資産価額は 279 ペンスに減少し(2013 年: 283 ペンス)、1 株当たり純資産価額は 327 ペンスに減少しました(2013 年: 331 ペンス)。

## 業績ハイライト

### 当グループの業績(半期)

	調整後			法定		
	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	13,332	15,071	(12)	13,384	15,157	(12)
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(1,086)	(1,631)	33	(1,086)	(1,631)	33
<b>営業収益純額</b>	<b>12,246</b>	<b>13,440</b>	<b>(9)</b>	<b>12,298</b>	<b>13,526</b>	<b>(9)</b>
営業費用	(8,172)	(9,015)	9	(8,172)	(9,015)	9
訴訟および特定行為 <sup>1</sup>	(211)	(126)	(67)	(1,111)	(2,126)	48
Transform 達成費用	(494)	(640)	23	(494)	(640)	23
<b>営業費用合計</b>	<b>(8,877)</b>	<b>(9,781)</b>	<b>9</b>	<b>(9,777)</b>	<b>(11,781)</b>	<b>17</b>
その他の費用純額	(20)	(68)	71	(20)	(68)	71
<b>税引前利益</b>	<b>3,349</b>	<b>3,591</b>	<b>(7)</b>	<b>2,501</b>	<b>1,677</b>	<b>49</b>
税金	(1,109)	(1,124)	1	(895)	(594)	(51)
<b>税引後利益</b>	<b>2,240</b>	<b>2,467</b>	<b>(9)</b>	<b>1,606</b>	<b>1,083</b>	<b>48</b>
非支配持分	(390)	(412)	5	(390)	(412)	5
その他株主持分 <sup>2</sup>	(90)	-		(90)	-	
<b>株主帰属利益</b>	<b>1,760</b>	<b>2,055</b>	<b>(14)</b>	<b>1,126</b>	<b>671</b>	<b>68</b>

### パフォーマンス指標

	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 6月30日に 終了した半期	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 12月31日に 終了した半期
平均有形株主資本利益率 <sup>2</sup>	7.5%	9.1%	4.9%	3.0%
平均株主資本利益率 <sup>2</sup>	6.5%	7.8%	4.2%	2.6%
収益に対する費用の比率	67%	65%	73%	78%
営業収益純額に対する報酬の比率	38%	38%	38%	38%
貸倒率(ベース・ポイント)	45	63	45	63
基本的1株当たり利益 <sup>2</sup>	10.9ペンス	15.2ペンス	7.0ペンス	5.0ペンス
1株当たり配当金	2.0ペンス	2.0ペンス	2.0ペンス	2.0ペンス

### 貸借対照表およびレバレッジ

	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 12月31日に 終了した半期
1株当たりの純資産価額	327ペンス	331ペンス
1株当たりの正味有形資産価額	279ペンス	283ペンス
PRAレバレッジ・エクスポージャー	12,660億ポンド	13,650億ポンド
推計BCBS 270レバレッジ・エクスポージャー	13,530億ポンド	n/a

### 資本管理

CRD IV 完全施行ベース	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 6月30日に 終了した半期
普通株式 Tier 1 比率 <sup>3</sup>	9.9%	9.1%
普通株式 Tier 1 資本	408億ポンド	404億ポンド
PRA 調整後 Tier 1 資本	432億ポンド	405億ポンド
リスク調整後資産 <sup>3</sup>	4,110億ポンド	4,420億ポンド
PRAレバレッジ比率	3.4%	3.0%
推計BCBS 270レバレッジ比率	3.4%	n/a

### 資金調達および流動性

	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 6月30日に 終了した半期
グループ余剰流動性	1,340億ポンド	1,270億ポンド
推計CRD IV流動性カバレッジ比率	107%	96%
預貸率 <sup>4</sup>	92%	91%

### 調整後利益の分析

	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 6月30日に 終了した半期
<b>調整後税引前利益</b>	<b>3,349</b>	<b>3,591</b>
当グループ自身の信用度に関連する利益	52	86
支払保障保険(PPI)に係る補償引当金	(900)	(1,350)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	(650)
<b>法定税引前利益</b>	<b>2,501</b>	<b>1,677</b>

<sup>1</sup> 訴訟および特定行為に係る費用には制裁金、訴訟和解金、特定行為に関連する顧客への補償金が含まれています。

<sup>2</sup> その他株主持分に帰属する税引後利益9,000万ポンド(2013年:ゼロポンド)は準備金に計上する税控除1,900万ポンド(2013年:ゼロポンド)によって相殺されています。1株当たり利益、平均有形株主資本利益率、平均株主資本利益率は残りの7,100万ポンドと非支配持分(NCI)を税引後利益から差し引いて計算したものです。

<sup>3</sup> 2014年のCRD IV完全施行に伴う報告作成に伴って、2013年12月31日に報告していたリスク調整後資産は69億ポンド修正されて4,420億ポンドになり、完全施行ベースのCET1比率はマイナス0.2%修正されて9.1%になりました。これらの追加的なリスク調整後資産は当社およびその他事業に含まれています

<sup>4</sup> 預貸率はパーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア・リテール部門のものです。

## 業績ハイライト

### パークレイズ・コアおよびノンコアの業績(半期)

	パークレイズ・コア			パークレイズ・ノンコア		
	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	12,674	13,597	(7)	658	1,474	(55)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(937)	(1,075)	13	(149)	(556)	73
<b>営業収益純額</b>	<b>11,737</b>	<b>12,522</b>	<b>(6)</b>	<b>509</b>	<b>918</b>	<b>(45)</b>
営業費用	(7,314)	(8,005)	9	(860)	(1,010)	15
訴訟および特定行為	(177)	(86)		(33)	(39)	15
Transform 達成費用	(453)	(223)		(41)	(418)	90
<b>営業費用合計</b>	<b>(7,944)</b>	<b>(8,314)</b>	<b>4</b>	<b>(934)</b>	<b>(1,467)</b>	<b>36</b>
その他の収益/(費用)純額	47	56	(16)	(66)	(124)	47
<b>税引前利益/(損失)</b>	<b>3,840</b>	<b>4,264</b>	<b>(10)</b>	<b>(491)</b>	<b>(673)</b>	<b>27</b>
株主帰属利益/(損失)	2,224	2,675	(17)	(464)	(619)	25

### パフォーマンス指標

調整後平均有形株主資本利益率 <sup>1</sup>	13.5%	19.3%	(6.0%)	(10.2%)
調整後平均株主資本利益率 <sup>1</sup>	11.0%	15.1%	(4.5%)	(7.3%)
収益に対する費用の比率	63%	61%	142%	100%
基本的1株当たり利益への寄与	13.8ペンス	19.8ペンス	(2.9ペンス)	(4.6ペンス)

資本管理	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 12月31日に 終了した半期	2014年 6月30日に 終了した半期	2013年 12月31日に 終了した半期
	CRD IV 完全施行ベース			
リスク調整後資産	3,240 億ポンド	3,330 億ポンド	870 億ポンド	1,100 億ポンド
平均割当有形株主資本	330 億ポンド	290 億ポンド	140 億ポンド	160 億ポンド
平均割当株主資本	410 億ポンド	370 億ポンド	140 億ポンド	170 億ポンド

### 事業部門別損益

	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	4,361	4,305	1
パークレイカード	2,124	2,019	5
アフリカ・バンキング	1,773	2,055	(14)
インベストメント・バンク	4,257	5,222	(18)
本社およびその他事業	159	(4)	
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>12,674</b>	<b>13,597</b>	<b>(7)</b>
<b>パークレイズ・ノンコア</b>	<b>658</b>	<b>1,474</b>	<b>(55)</b>
<b>パークレイズ・グループ調整後損益合計</b>	<b>13,332</b>	<b>15,071</b>	<b>(12)</b>

### 事業部門別税引前利益/(損失)

	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,468	1,197	23
パークレイカード	764	616	24
アフリカ・バンキング	484	547	(12)
インベストメント・バンク	1,058	1,951	(46)
本社およびその他事業	66	(47)	
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>3,840</b>	<b>4,264</b>	<b>(10)</b>
<b>パークレイズ・ノンコア</b>	<b>(491)</b>	<b>(673)</b>	<b>27</b>
<b>パークレイズ・グループ調整後税引後利益合計</b>	<b>3,349</b>	<b>3,591</b>	<b>(7)</b>

<sup>1</sup> パークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コア部門の利益率の差を示しています。

## グループ最高責任者によるご挨拶

---

「当グループは5月8日の戦略に関する発表において、コスト基盤の構造的な削減と資本基盤の強化を進める一方、景気循環にかかわらず、より高く持続可能なリターンを創出できるようにグループを簡素化、集中、再編することを約束しました。

この計画の遂行は着実に進んでいます。パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング部門とパークレイカード部門の税引前利益はそれぞれ23%、24%増加しました。またアフリカ・バンキング部門も恒常通貨ベースで利益が13%増加しました。インベストメント・バンク部門の業績は目下進めている再編と直近四半期の厳しいトレーディング環境の影響を受けましたが、足元のこうした状況は予想していた通りです。バンキング部門の強固な業績は、新たなオリジネーションを主導とした戦略がお客様を引きつけるものであることを示しています。

また私は新たなノンコア部門が資産の削減で非常に良好なスタートを切ったことを嬉しく思っています。上半期でリスク調整後資産は220億ポンド削減することができました。株主資本利益率へのマイナスの影響度合も当四半期に7.3%から4.5%に低下し、2016年の目標である3%に向けて順調に進んでいます。

戦略的なコスト削減は強固なリターンを達成するために不可欠であり、管理を維持し顧客満足体験の改善を図る一方、営業費用の削減努力を継続しました。グループ全体の従業員数は2007年以降最低水準にあり、グループ横断的に上半期でTransform達成費用を含めた調整後営業費用をほぼ10億ポンド削減しました。

2013年2月から実行しているTransform戦略は、持続可能な業績を維持するとともに、旧来からの問題の影響など外的圧力に抵抗できることを目標とし策定されました。支払保障保険に係る補償のための引当金の積み増しがあったにもかかわらず、資本の強化に努め、6月30日現在でCRD IVベースの普通株式Tier1(CET1)比率は9.9%に増加しており、2016年までに同比率を11%にするという目標に向け着実に歩を進めています。また、継続的なレバレッジの削減と23億ポンドの新たな追加的Tier1証券の発行など、6月には負債の管理施策が奏功し、PRAレバレッジ比率も3.4%に増やすことができました。推計バーゼル銀行監督委員会270条レバレッジ比率は3.4%でした。

上半期を振り返るにあたり、私は業績に満足しており、パークレイズ・グループの可能性に期待しており、『選ばれる銀行(‘Go-To’ bank)』になるという計画に自信を深めています。」

グループ最高責任者 アントニー・ジェンキンス

## グループ財務担当取締役のレビュー

### 損益計算書

#### グループの業績

- 調整後税引前利益は 7%減少し、33 億 4,900 万ポンドとなりました。パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)、パークレイカード、パークレイズ・ノンコア(BNC)の各部門の改善により一部相殺されたものの、為替の変動とインベストメント・バンク部門の収益性の低下を主に反映しています。
- 調整後収益は 12%減少し、133 億 3,200 万ポンドとなりましたが、減損費用が 33%減少し、10 億 8,600 万ポンドとなったことで、営業収益純額は 9%減の 122 億 4,600 万ポンドとなりました。
- 調整後営業費用は Transform 達成費用 4 億 9,400 万ポンド(2013 年: 6 億 4,000 万ポンド)と訴訟および特定行為に係る費用 2 億 1,100 万ポンド(2013 年: 1 億 2,600 万ポンド)を含め、9%減少し、88 億 7,700 万ポンドとなりました。これは、これまでの Transform の取り組みによる費用削減および為替変動の影響を反映しています。
- 法定税引前利益は 25 億 100 万ポンドとなりました(2013 年: 16 億 7,700 万ポンド)。支払保障保険(PPI)に係る補償引当金に 9 億ポンドの追加繰入れを行いました(2013 年: 13 億 5,000 万ポンド)、前年(2013 年: 6 億 5,000 万ポンド)と比べ、金利ヘッジ商品に係る補償引当金が発生しなかったことを反映しています。
- 調整後税引前利益への実効税率は 33.1%に増えました(2013 年: 31.3%)。法定税引前利益への実効税率は 35.8%とほぼ横ばいでした(2013 年: 35.4%)
- グループの調整後株主帰属利益は 17 億 6,000 万ポンド(2013 年: 20 億 5,500 万ポンド)となり、グループの調整後平均株主資本利益率は 6.5%に低下しました(2013 年: 7.8%)。パークレイズ・ノンコア部門の業績の改善によって部分的に相殺されたものの、2013 年度第 4 四半期の新株予約権無償割当による株式の発行およびコア部門の税引前利益が減少したことによります。

#### コア部門の業績

- 税引前利益は 10%減少し、38 億 4,000 万ポンドとなりました。コア部門のビジネスの大半の業績が改善したものの、それにより相殺できる以上にインベストメント・バンク部門の減益が大きかったことによります。
- 収益は 7%減少し、126 億 7,400 万ポンドとなりました。パークレイカードおよびパーソナル・アンド・コーポレート・バンキングの増収により一部相殺されましたが、マーケティング事業を中心とするインベストメント・バンク部門の 18%の減収と為替の変動によるアフリカ・バンキング部門の減収を反映しています。
  - アフリカ・バンキング部門での為替変動によって一部相殺されたものの、大幅な経費削減および PCB 部門でのモーゲージとパークレイカードの取引量の増加、調達費用の低下により、利息収入純額は 10%増加し、58 億 9,900 万ポンドとなりました。
  - インベストメント・バンク部門の収益は 18%減少し、42 億 5,700 万ポンドとなりました。バンキング業務の 5%の増収により一部相殺されたものの、市場業務が 22%の減収となったためです。
- 信用に関する減損費用は 13%改善し、9 億 3,700 万ポンドとなりました。これは以下の要因によります。
  - 英国の経済環境の改善が英国のリテールおよびホールセール・ポートフォリオの大部分に好影響を与え、PCB 部門の減損費用が減少
  - 主に南アフリカのモーゲージ・ポートフォリオの改善により、アフリカ・バンキング部門のモーゲージにかかる減損費用が恒常通貨ベースで減少
  - 為替変動により取引高拡大の影響が概ね相殺されたため、パークレイカードの減損費用は横ばい
  - インベストメント・バンク部門で新規費用が低水準だった上、多くのカウンターパーティーに対する減損の戻入れが発生
- 営業費用は 3 億 7,000 万ポンド減少し、79 億 4,400 万ポンドとなりました。より多くの Transform 達成費用 4 億 5,300 万ポンド(2013 年: 2 億 2,300 万ポンド)と訴訟および特定行為に係る費用 1 億 7,700 万ポンド(2013 年: 8,600 万ポンド)によって一部相殺されたものの、Transform の取り組みの結果としての全ての事業部門における改善と為替の変動を反映しています。
- コア部門の株主資本利益率は 11.0%に低下しました(2013: 15.1%)。

#### ノンコア部門の業績

- 税引前損失は 27%減少し、4 億 9,100 万ポンドとなりました。減損費用が 1 億 4,900 万ポンドと 4 億 700 万ポンド減少したことと、Transform 達成費用が 4,100 万ポンド(2013 年 4 億 1,800 万ポンド)に減少したことを含め、営業費用が 36%減少し 9 億 3,400 万ポンドになりましたが、それ以上に資産売却とリスクの削減によって、収益が 6 億 5,800 万ポンドに減少(2013 年: 14 億 7,400 万ポンド)したことによります。
- ノンコア部門の株主資本利益率の低下への影響度は 4.5%に改善しました(2013 年: 7.3%)。

## グループ財務担当取締役のレビュー

### 貸借対照表およびレバレッジ

#### 貸借対照表

- 資産合計は 2013 年 12 月から 2%減少し、2014 年 6 月 30 日現在で 1 兆 3,150 億ポンドとなりました。
  - 先渡金利の低下により一部相殺されたものの、主として米ドルの下落、信用スプレッドの縮小、取引の減少と貸借対照表の削減施策により、デリバティブ資産が 170 億ポンド減少
  - 主に貸借対照表のレバレッジ解消によりマッチド・ブック取引が減少した結果、リバース・レポ取引が 150 億ポンド減少
- ノンコア部門で貸付金の削減を推進し、資産が 70 億ポンド減少したことにより一部相殺されましたが、決済残高が 130 億ポンド、PCB 部門での英国のモーゲージ貸付が 60 億ポンド、パークレイカード部門で 20 億ポンドそれぞれ増加したことにより、貸付金合計は 130 億ポンド増加し、4,860 億ポンドとなりました(2013 年: 4,740 億ポンド)。
- 顧客勘定は決済残高が増加したことを受け、3%増加し、4,440 億ポンドとなりました。
- 株主資本合計(非支配持分を含む)は 650 億ポンドでした(2013 年: 640 億ポンド)。非支配持分を除いた株主資本は、優先株式および劣後債務商品を消却する代わりに投資家に発行されたその他資本性追加的 Tier1 商品の 23 億ポンドの増加を主に反映し、非支配持分を除いた株主資本は 26 億ポンド増加し 580 億ポンドとなりました。
- 1 株当たりの純資産価額は 327 ペンス(2013 年: 331 ペンス)、1 株当たり正味有形資産価額は 279 ペンス(2013 年: 283 ペンス)でした。発行済株式数の増加および英ポンドの上昇に伴う 9 億ポンドの為替換算再評価差額の減少が主因です。

#### レバレッジ・エクスポージャー

- PRA レバレッジ・エクスポージャーは、決済残高の増加により一部相殺されたものの、デリバティブの将来の潜在エクスポージャー(PFE)および証券金融取引(SFT)の減少、そして為替の変動により、990 億ポンド減少し、1 兆 2,660 億ポンドとなりました。推定バーゼル銀行監督委員会(BCBS)レバレッジ・エクスポージャーは 1 兆 3,530 億ポンドとなりました。

### 資本管理

- CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率はリスク調整後資産の減少を主因に 9.9%に上昇しました(2013 年: 9.1%)。
- CRD IV リスク調整後資産は、証券事業の縮小、撤退およびデリバティブに係るリスクの削減を要因に、BNC で 220 億ポンド減少削減したこと、310 億ポンド減少し 4,110 億ポンドとなりました。
- CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本は、利益剰余金が創出されたことから 4 億ポンド増え 408 億ポンドになりました。
- PRA レバレッジ比率は 3.4%に上昇しました(2013 年: 3.0%)。PRA レバレッジ・エクスポージャーの 990 億ポンドの減少と適格 PRA 調整後 Tier 1 資本が 432 億ポンド増加(2013 年: 405 億ポンド)したことを反映しています。パークレイズの PRA レバレッジ比率は 2014 年 6 月 30 日現在、PRA の定める最低基準の 3%を上回りました。PRA はパークレイズに 2014 年 7 月 1 日以降、BCBS270 条完全施行ベースの最低水準 3%を上回るように求めています。この基準による当グループの推定 BCBS レバレッジ比率は 2014 年 6 月 30 日現在で 3.4%です。

## グループ財務担当取締役のレビュー

---

### 資金調達と流動性

- グループ余剰流動性は 1,340 億ポンド(2013 年: 1,270 億ポンド)となり、グループの流動性リスク選好度に関する内部および規制上の要件を引き続き満たしつつ、予想された通常の業務運営の範囲内にとどりました。
- 余剰流動性は主に現金および中央銀行預け金と優良国債で構成されています。
- 欧州銀行監督機構(EBA)が導入した CRD IV 基準に基づく推定流動性カバレッジ比率(LCR)は 107%でした(2013 年: 96%)。これは比率 100%を達成するために必要な額を 90 億ポンド上回ります(2013 年: 60 億ポンドの不足)。2013 年 1 月にバーゼル委員会が発表した基準に基づくグループの推定 LCR は 112%(2013 年: 102%)でした。
- パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、アフリカ・バンキング、パークレイカード各部門の預貸率は 92%と概ね横ばいでした(2013 年: 91%)。グループ全体の預貸率は 100%と概ね変更はありませんでした(2013 年: 101%)。
- ホールセール資金調達残高合計(レボ取引を除く)は 1,790 億ポンド(2013 年: 1,860 億ポンド)でした。うち、860 億ポンド(2013 年: 820 億ポンド)は 1 年未満で満期を迎え、220 億ポンド(2013 年: 200 億ポンド)は 1 ヶ月以内に満期を迎えます。
- 当グループは 2014 年の期限前償還を控除後の純額で 90 億ポンドのタームファンディングを実施しました。さらにイングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を通じ、60 億ポンド調達しました。パークレイズでは、残る 2014 年度中に 120 億ポンド、2015 年度中に 240 億ポンドのタームファンディングが満期を迎えます。種類、通貨、販路の多様性を備えた安定した資金調達基盤を維持するため、残る 2014 年度および 2015 年度に公募ホールセール債券を更に発行する方針です。

### 配当

- 2014 年度の第二中間配当として 1 株につき 1.0 ペンスを 2014 年 9 月 19 日にお支払いします。

### 見通し

- 2014 年度は当グループにとって過渡期の年と位置付け、投資を継続し、貸借対照表の最適化とコスト削減に引き続き注力し続けてまいります。

グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

## 要約連結財務書類(未監査)

### 要約連結損益計算書(未監査)

継続事業	注記 <sup>1</sup>	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
利息収入純額		6,082	6,023	5,577
手数料収入純額		4,256	4,335	4,396
トレーディング収益純額		2,575	1,979	4,574
投資収益純額		356	263	417
保険契約に基づく保険料収入純額		336	345	387
その他の収益		19	74	74
<b>収益合計</b>		<b>13,624</b>	<b>13,019</b>	<b>15,425</b>
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(240)	(241)	(268)
<b>保険金控除後の収益合計</b>		<b>13,384</b>	<b>12,778</b>	<b>15,157</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(1,086)	(1,440)	(1,631)
<b>営業収益純額</b>		<b>12,298</b>	<b>11,338</b>	<b>13,526</b>
人件費	2	(5,730)	(5,724)	(6,431)
一般管理費	3	(3,147)	(4,467)	(3,350)
<b>営業費用</b> (PPIおよび金利ヘッジ商品に係る補償引当金を除く)		<b>(8,877)</b>	<b>(10,191)</b>	<b>(9,781)</b>
支払保障保険(PPI)に係る補償引当金	11	(900)	-	(1,350)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	11	-	-	(650)
<b>営業費用</b>		<b>(9,777)</b>	<b>(10,191)</b>	<b>(11,781)</b>
関連会社および合弁会社の損益ならびに事業の売却(損)益		(20)	44	(68)
<b>税引前利益</b>		<b>2,501</b>	<b>1,191</b>	<b>1,677</b>
税金	4	(895)	(977)	(594)
<b>税引後利益</b>		<b>1,606</b>	<b>214</b>	<b>1,083</b>
<b>以下に帰属するもの:</b>				
親会社の普通株主		1,126	(131)	671
その他の株主 <sup>2</sup>		90	-	-
<b>親会社の普通株主合計</b>		<b>1,216</b>	<b>(131)</b>	<b>671</b>
非支配持分	5	390	345	412
<b>税引後利益</b>		<b>1,606</b>	<b>214</b>	<b>1,083</b>
<b>継続事業からの1株当たり利益</b>				
基本的普通株式1株当たり利益/(損失) <sup>2</sup>	6	7.0ペンス	(0.9ペンス)	5.0ペンス
希薄化後普通株式1株当たり利益/(損失) <sup>2</sup>	6	7.0ペンス	(0.9ペンス)	4.8ペンス

<sup>1</sup> 財務書類に関する注記は、英語原文の55ページから88ページをご参照下さい。

<sup>2</sup> その他株主持分に帰属する税引後利益9,000万ポンド(2013年:ゼロポンド)は準備金に計上する税控除1,900万ポンド(2013年:ゼロポンド)によって相殺されています。1株当たり利益は残りの7,100万ポンドと非支配持分を税引後利益から差し引いて計算したものです。

## 要約連結財務書類(未監査)

### 要約連結損益およびその他の包括利益計算書(未監査)

継続事業		2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
税引後利益	注記 <sup>1</sup>	1,606	214	1,083
<b>損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益:</b>				
為替換算再評価差額	15	(1,056)	(2,278)	511
売却可能投資再評価差額	15	341	(288)	(94)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	15	254	(753)	(1,137)
その他		(53)	(57)	20
<b>損益に振替えられる可能性のある包括損失合計総額</b>		<b>(514)</b>	<b>(3,376)</b>	<b>(700)</b>
<b>損益に振替えられる可能性がないその他の包括利益:</b>				
退職給付金の再測定	12	236	(478)	(37)
<b>当期その他の包括損失</b>		<b>(278)</b>	<b>(3,854)</b>	<b>(737)</b>
<b>当期包括利益/(損失)合計</b>		<b>1,328</b>	<b>(3,640)</b>	<b>346</b>
<b>以下に帰属するもの:</b>				
親会社の株主		1,064	(3,638)	232
非支配持分		264	(2)	114
<b>当期包括利益/(損失)合計</b>		<b>1,328</b>	<b>(3,640)</b>	<b>346</b>

<sup>1</sup> 財務書類に関する注記は、英語原文の55ページから88ページをご参照下さい。

## 要約連結財務書類(未監査)

### 要約連結貸借対照表(未監査)

資産	注記 <sup>1</sup>	2014年 6月 30日	2013年 12月 31日
		現在 (百万ポンド)	現在 (百万ポンド)
現金および中央銀行預け金		44,047	45,687
他銀行からの取立中の項目		1,746	1,282
トレーディング・ポートフォリオ資産		128,812	133,069
公正価値で測定すると指定された金融資産		39,746	38,968
デリバティブ	8	333,220	350,300
銀行に対する貸付金		43,448	39,422
顧客に対する貸付金		442,549	434,237
リバース・レポ取引およびその他類いの担保付貸付		171,934	186,779
売却可能投資		87,224	91,756
未収還付税および繰延税金資産	4	4,461	5,026
前払金、未収収益およびその他の資産		5,092	4,415
関連会社および合併会社に対する投資		704	653
のれん		4,829	4,878
無形資産		3,049	2,807
有形固定資産		3,983	4,216
退職給付資産	12	55	133
<b>資産合計</b>		<b>1,314,899</b>	<b>1,343,628</b>
<b>負債</b>			
銀行預り金		62,167	55,615
他銀行への未決済項目		1,958	1,359
顧客預り金		443,638	431,998
レポ取引およびその他類いの担保付借入		173,669	196,748
トレーディング・ポートフォリオ負債		56,815	53,464
公正価値で測定すると指定された金融負債		62,248	64,796
デリバティブ	8	326,501	347,118
発行債券		83,832	86,693
未払金、繰延収益およびその他の負債		13,128	12,934
未払税金および繰延税金負債	4	1,429	1,415
劣後負債	10	19,301	21,695
引当金	11	3,445	3,886
退職給付債務	12	1,743	1,958
<b>負債合計</b>		<b>1,249,874</b>	<b>1,279,679</b>
<b>株主資本</b>			
払込済株式資本および株式払込剰余金	13	20,655	19,887
その他の剰余金	15	(154)	249
利益剰余金		33,241	33,186
<b>親会社の普通株主に帰属する資本</b>		<b>53,742</b>	<b>53,322</b>
その他の資本性金融商品	14	4,326	2,063
<b>非支配持分を除く株主資本合計</b>		<b>58,068</b>	<b>55,385</b>
非支配持分	5	6,957	8,564
<b>株主資本合計</b>		<b>65,025</b>	<b>63,949</b>

<sup>1</sup> 財務書類に関する注記は、英語原文の 55 ページから 88 ページをご参照下さい。

## 要約連結財務書類(未監査)

### 要約連結株主資本変動表(未監査)

	払込済株式資本 および 株式払込剰余金 <sup>1</sup> (百万ポンド)	その他の 資本性 金融商品 <sup>1</sup> (百万ポンド)	その他の 剰余金 <sup>1</sup> (百万ポンド)	利益剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配持分 <sup>2</sup> (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
<b>2014年6月30日に終了した半期</b>							
2014年1月1日現在残高	19,887	2,063	249	33,186	55,385	8,564	63,949
税引後利益	-	90	-	1,126	1,216	390	1,606
為替換算の変動	-	-	(941)	-	(941)	(115)	(1,056)
売却可能投資	-	-	345	-	345	(4)	341
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	260	-	260	(6)	254
退職給付金の再測定	-	-	-	237	237	(1)	236
その他	-	-	-	(53)	(53)	-	(53)
<b>当期包括利益合計</b>	-	90	(336)	1,310	1,064	264	1,328
普通株式の新規発行	64	-	-	-	64	-	64
従業員株式制度に基づく株式発行	704	-	-	379	1,083	-	1,083
資本性金融商品の発行と交換	-	2,263	-	(155)	2,108	(1,527)	581
その他の資本性金融商品に係る支払クーポン	-	(90)	-	19	(71)	-	(71)
自己株式の増加	-	-	(842)	-	(842)	-	(842)
従業員株式制度に基づく株式の権利確定	-	-	775	(775)	-	-	-
配当金支払額	-	-	-	(728)	(728)	(334)	(1,062)
その他の剰余金の変動	-	-	-	5	5	(10)	(5)
<b>2014年6月30日現在残高</b>	<b>20,655</b>	<b>4,326</b>	<b>(154)</b>	<b>33,241</b>	<b>58,068</b>	<b>6,957</b>	<b>65,025</b>
<b>2013年12月31日に終了した半期</b>							
2013年7月1日現在残高	13,988	-	3,233	33,862	51,083	9,054	60,137
税引後(損失)/利益	-	-	-	(131)	(131)	345	214
為替換算の変動	-	-	(1,951)	-	(1,951)	(327)	(2,278)
売却可能投資	-	-	(283)	-	(283)	(5)	(288)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	(746)	-	(746)	(7)	(753)
退職給付金の再評価	-	-	-	(470)	(470)	(8)	(478)
その他	-	-	-	(57)	(57)	-	(57)
<b>当期包括利益合計</b>	-	-	(2,980)	(658)	(3,638)	(2)	(3,640)
普通株式の新規発行	5,870	-	-	-	5,870	-	5,870
従業員株式制度に基づく株式発行	29	-	-	352	381	-	381
その他の資本性金融商品の発行	-	2,063	-	-	2,063	-	2,063
自己株式の増加	-	-	(17)	-	(17)	-	(17)
従業員株式制度に基づく株式の権利確定	-	-	13	(13)	-	-	-
配当金支払額	-	-	-	(289)	(289)	(490)	(779)
その他の剰余金の変動	-	-	-	(68)	(68)	2	(66)
<b>2013年12月31日現在残高</b>	<b>19,887</b>	<b>2,063</b>	<b>249</b>	<b>33,186</b>	<b>55,385</b>	<b>8,564</b>	<b>63,949</b>
<b>2013年6月30日に終了した半期</b>							
2013年1月1日現在残高	12,477	-	3,674	34,464	50,615	9,371	59,986
税引後利益	-	-	-	671	671	412	1,083
為替換算の変動	-	-	750	-	750	(239)	511
売却可能投資	-	-	(96)	-	(96)	2	(94)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	(1,080)	-	(1,080)	(57)	(1,137)
退職給付金の再評価	-	-	-	(33)	(33)	(4)	(37)
その他	-	-	-	20	20	-	20
<b>当期包括利益合計</b>	-	-	(426)	658	232	114	346
普通株式の新規発行	750	-	-	-	750	-	750
従業員株式制度に基づく株式発行	761	-	-	337	1,098	-	1,098
自己株式の増加	-	-	(1,049)	-	(1,049)	-	(1,049)
従業員株式制度に基づく株式の権利確定	-	-	1,034	(1,034)	-	-	-
配当金支払額	-	-	-	(570)	(570)	(323)	(893)
その他の剰余金の変動	-	-	-	7	7	(108)	(101)
<b>2013年6月30日現在残高</b>	<b>13,988</b>	<b>-</b>	<b>3,233</b>	<b>33,862</b>	<b>51,083</b>	<b>9,054</b>	<b>60,137</b>

<sup>1</sup> 株主資本、その他の資本性金融商品およびその他の剰余金の詳細については英語原文 72 ページから 73 ページをご参照下さい。

<sup>2</sup> 非支配持分の詳細については英語原文 58 ページをご参照下さい。

## 要約連結財務書類(未監査)

### 要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

継続事業	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
税引前利益	2,501	1,191	1,677
非現金項目の調整	1,760	6,230	351
営業資産および負債の変動	(3,082)	(42,699)	9,866
法人税等支払額	(586)	(764)	(794)
<b>営業活動からのキャッシュ純額</b>	<b>593</b>	<b>(36,042)</b>	<b>11,100</b>
投資活動からのキャッシュ純額	7,463	(6,017)	(16,628)
財務活動からのキャッシュ純額	(2,202)	7,122	(1,212)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	(1,380)	(3,125)	3,323
<b>現金および現金同等物の純増加／(減少)</b>	<b>4,474</b>	<b>(38,062)</b>	<b>(3,417)</b>
現金および現金同等物 期首現在	81,754	119,816	123,233
<b>現金および現金同等物 期末現在</b>	<b>86,228</b>	<b>81,754</b>	<b>119,816</b>

## 事業部門別業績

### パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング

#### 損益計算書関連の情報

	2014年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 12月 31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
利息収入純額	3,057	3,033	2,860	7
手数料収入純額	1,257	1,320	1,403	(10)
その他の収益	47	65	42	12
<b>収益合計</b>	<b>4,361</b>	<b>4,418</b>	<b>4,305</b>	<b>1</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(230)	(322)	(299)	23
<b>営業収益純額</b>	<b>4,131</b>	<b>4,096</b>	<b>4,006</b>	<b>3</b>
営業費用	(2,554)	(2,706)	(2,754)	7
Transform 達成費用	(115)	(292)	(92)	(25)
英国銀行税	-	(66)	-	-
<b>営業費用合計</b>	<b>(2,669)</b>	<b>(3,064)</b>	<b>(2,846)</b>	<b>6</b>
その他の収益純額	6	4	37	(84)
<b>税引前利益</b>	<b>1,468</b>	<b>1,036</b>	<b>1,197</b>	<b>23</b>
株主帰属利益	1,039	800	881	18

#### 貸借対照表関連の情報と重要な数値

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,167 億ポンド	2,122 億ポンド	2,113 億ポンド
資産合計	2,681 億ポンド	2,785 億ポンド	2,883 億ポンド
顧客預り金	2,983 億ポンド	2,959 億ポンド	2,895 億ポンド
リスク調整後資産 - CRD IV 完全施行ベース	1,179 億ポンド	1,183 億ポンド	n/a
平均割当有形株主資本	130 億ポンド	133 億ポンド	131 億ポンド
平均割当株主資本	173 億ポンド	175 億ポンド	172 億ポンド
モーゲージ・ポートフォリオの平均 LTV <sup>1</sup>	55%	56%	58%
新規モーゲージ貸出の平均 LTV <sup>1</sup>	64%	64%	64%
支店数	1,546	1,560	1,577

#### パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	16.1%	12.0%	13.5%
平均株主資本利益率	12.1%	9.1%	10.3%
収益に対する費用の比率	61%	69%	66%
貸倒率(ベース・ポイント)	21	29	28

<sup>1</sup> モーゲージ・ポートフォリオおよび新規モーゲージ貸付の平均 LTV は、残高を加重して計算したものです。

## 事業部門別業績

### パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)は、パーソナル・バンキング、モーゲージ、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントならびにコーポレート・バンキングで構成される部門です。これらの業務を通して、英国および一部の海外市場でお客様のニーズにサービスを提供しています。これらの業務を一体運営することによって、商品や顧客セグメント能力を高めることができ、プラットフォームの統合を通してのコストの削減のシナジーの向上ならびに、特にデジタル・チャンネルの分野での専門性の有効活用が可能となります。

デジタル・チャンネルを利用する顧客数は大幅な増加が続いています。モバイル・バンキング利用者は 300 万とほぼ 2 倍に増え、Pingit 利用者は 170 万と 2 倍以上に増加しました。PCB は今年の上半期に純額で 23 億ポンドのモーゲージ貸付、中小企業<sup>1</sup> に対し総額 9 億ポンドの貸付を実施し、60,000 社近くの起業を支援するなど、引き続き英国経済を支えています。

Transform 戦略は進展し続けています。2014 年度上半期の Transform 達成費用は 1 億 1,500 万ポンドとなりました(2013 年: 9,200 万ポンド)。対象とする市場を絞り込み、業務を簡素化する持続的な合理化により業務の効率を高める一方で、様々な販路でお客様の満足度を向上させるための投資を継続しました。

#### 損益計算書 – 2014 年度上半期と 2013 年度上半期の比較

- 収益合計は 1%増加し、43 億 6,100 万ポンドとなりました。手数料収入の減少により一部相殺されたものの、預金およびモーゲージが大きく伸びたためです。
- 利息収入純額は預金の大幅な増加とモーゲージの増加を受け、7%増加し、30 億 5,700 万ポンドとなりました。純利ざやは資金調達コスト顧客の預金への利息が低下したことから 8 ベーシス・ポイント上昇し、296 ベーシス・ポイントとなりました。
- 手数料収入純額は当座預金・保険商品からの手数料、コーポレート・バンキングの手数料が減少したことを主因に 10%減少し、12 億 5,700 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は英国の経済環境の改善を受け、6,900 万ポンド減少し、2 億 3,000 万ポンドとなりました。パーソナル・バンキングでは当座貸越と住宅ローンの償却の減少の恩恵を享受しました。コーポレート・バンキングは英国での引当金戻入れと回収の増加がそれぞれ改善につながりました。
- 営業費用は 6%減少し、26 億 6,900 万ポンドとなりました。Transform 達成費用が 1 億 1,500 万ポンド(2013 年: 9,200 万ポンド)に増加したことで一部相殺されたものの、人員削減の効果があったためです。
- 税引前利益は 23%増加し、14 億 6,800 万ポンドとなりました。

#### 損益計算書 – 2014 年度第 2 四半期と 2014 年度第 1 四半期の比較

- 税引前利益は英国での経済環境の改善を背景とした減損費用の 4,000 万ポンドの減少、コーポレート・バンキングにおける引当金の戻入、Transform プログラムの実施に伴う 4,100 万ポンドの経費節減から、13%増加し、7 億 8,000 万ポンドとなりました。

#### 貸借対照表 – 2014 年 6 月 30 日と 2013 年 12 月 31 日の比較

- 顧客に対する貸付金はモーゲージ残高と英国での事業会社向け貸付金の増加を受け、45 億ポンド増加し、2,167 億ポンドとなりました。
- 資産合計は顧客に対する貸付金の伸びにより一部相殺されましたが、グループの余剰流動性の配分が減少したことを主因に、4%減少し、2,681 億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は 24 億ポンド増加し、2,983 億ポンドとなりました。これは、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント部門で主に法人からの現金預金の減少によって預金が純減したことによって、一部相殺されましたが、英国での事業会社と個人預金が増加したためです。
- リスク調整後資産は 1,179 億ポンドに減少しました(2013 年: 1,183 億ポンド)。貸借対照表の拡大によって一部相殺されましたが、リスク属性と高い質の流動性資産の扱いが変わったためです。

<sup>1</sup> 売上が 500 万ポンド未満の中小企業

## 事業部門別業績

### インベストメント・バンク

損益計算書関連の情報	2014年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 12月 31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
利息収入純額	334	229	164	
手数料収入純額	1,726	1,622	1,610	7
トレーディング収益純額	2,137	1,792	3,177	(33)
投資収益純額 <sup>1</sup>	60	(10)	271	(78)
<b>収益合計</b>	<b>4,257</b>	<b>3,633</b>	<b>5,222</b>	<b>(18)</b>
信用に関する減損およびその他の引当金戻入／(費用)	26	(16)	38	(32)
<b>営業収益純額</b>	<b>4,283</b>	<b>3,617</b>	<b>5,260</b>	<b>(19)</b>
営業費用	(2,943)	(2,979)	(3,193)	8
Transform 達成費用	(282)	(74)	(116)	
英国銀行税	-	(236)	-	-
<b>営業費用合計</b>	<b>(3,225)</b>	<b>(3,289)</b>	<b>(3,309)</b>	<b>3</b>
<b>税引前利益</b>	<b>1,058</b>	<b>328</b>	<b>1,951</b>	<b>(46)</b>
株主帰属利益	435	209	1,306	(67)

### 貸借対照表関連の情報

トレーディング・ポートフォリオ資産	1,012 億ポンド	966 億ポンド	1,074 億ポンド
デリバティブ資産	1,042 億ポンド	1,087 億ポンド	1,284 億ポンド
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	830 億ポンド	782 億ポンド	931 億ポンド
資産合計	4,478 億ポンド	4,396 億ポンド	5,155 億ポンド
リスク調整後資産 - CRD IV 完全施行ベース	1,255 億ポンド	1,260 億ポンド	n/a
平均割当有形株主資本	149 億ポンド	150 億ポンド	160 億ポンド
平均割当株主資本	156 億ポンド	156 億ポンド	166 億ポンド

### パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	5.9%	2.8%	16.3%
平均株主資本利益率	5.7%	2.7%	15.7%
収益に対する費用の比率	76%	91%	63%

### 収益合計内訳

インベストメント・バンキング	1,174	1,097	1,063	10
貸付 <sup>2</sup>	169	110	215	(21)
<b>バンキング</b>	<b>1,343</b>	<b>1,207</b>	<b>1,278</b>	<b>5</b>
クレジット <sup>3</sup>	616	539	718	(14)
株式	1,220	945	1,352	(10)
マクロ <sup>3</sup>	1,056	951	1,629	(35)
<b>市場</b>	<b>2,892</b>	<b>2,435</b>	<b>3,699</b>	<b>(22)</b>
<b>バンキングと市場</b>	<b>4,235</b>	<b>3,642</b>	<b>4,977</b>	<b>(15)</b>
その他 <sup>1</sup>	22	(9)	245	(91)
<b>収益合計</b>	<b>4,257</b>	<b>3,633</b>	<b>5,222</b>	<b>(18)</b>

1 投資収益純額とその他の収益には、2013 年度第 2 四半期に認識した 2008 年の米国のリーマンの買収に伴う、未回収資産に係る 2 億 5,900 万ポンドの収益が含まれています。

2 貸付収益には、利息収入純額、手数料収入ならびリスク管理の収益または損失が含まれます。2014 年度上半期の利息収入純額および手数料収入は 2 億 6,800 万ポンド(2013 年: 2 億 6,400 万ポンド)、リスク管理の損失は 9,900 万ポンド(2013 年: 4,900 万ポンド)でした。利息収入純額および手数料収入は継続的に概ね安定している傾向がありますが、リスク管理の収益および損失は変動しやすい傾向があります。

3 「マクロ」は金利、通貨、コモディティの収益を意味します。「クレジット」はクレジットと証券化商品と地方公共団体取引関連の収益を意味します。

### インベストメント・バンク

現在、インベストメント・バンク部門はオリジネーションを主としリターンに的を絞った市場業務とバンキング業務によって構成されています。非戦略的でリターンの低い事業はパークレイズ・ノンコアに移管され、アフリカのインベストメント・バンキング事業はアフリカ・バンキングに移管されました。インベストメント・バンクの財務部門は本社およびその他事業に移管され、現在はグループ財務部門に含めて報告されています。

2014 年度上半期の市場業務の収益は、2013 年度上半期と比べて減少しました。ボラティリティの低下に加え、前年度は取引高が高水準だったことが影響しています。2014 年度上半期はバンキング・フランチャイズが大幅に伸び、株式引受業務の収入は半期としては過去最高となるなど、市場を上回るペース<sup>1</sup>で拡大し続けました。

インベストメント・バンク部門はコストおよび資本の効率向上、管理体制の強化、株式およびバンキング業務を足場とする事業拡大に重点を置き、Transform 戦略を引き続き推進しました。Transform 達成費用は 2 億 8,200 万ポンドで、主に欧州、アジア、北南米における事業再編に関連するものです。

#### 損益計算書 – 2014 年度上半期と 2013 年度上半期の比較

- 収益合計は 2008 年の米国リーマン買収に関連する前年度の 2 億 5,900 万ポンドの公正価値調整にともなう 4%の減少および為替の変動による 5%の減少を含め、18%減少し、42 億 5,700 万ポンドとなりました。これらの要因を除くと収益は 10%減少しました。
  - インベストメント・バンキングの手数料収益は 10%増加しました。債券引受手数料は概ね前年比横ばいでしたが、財務アドバイザー業務が拡大し、株式引受業務の手数料収入も過去最高となったためです。
  - 市場業務の収益は以下の要因により 22%減少しました。
    - クレジットの収益は厳しいトレーディング環境と信用スプレッドの縮小する状況下、顧客取引が低迷して、14%減少し、6 億 1,600 万ポンドとなりました。
    - 株式資本調達からの収益の増加によって一部相殺されたものの、顧客の取引高の減少を反映した現物株の減収により、株式の収益は 10%減少し、12 億 2,000 万ポンドとなりました。
    - 為替市場のボラティリティの低下と金利商品における顧客の取引高の低迷を反映し、マクロの収益は 35%減少し、10 億 5,600 万ポンドとなりました。
- 2008 年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性の改善にともなう前年度の 2 億 5,900 万ポンドの公正価値調整の影響を主因に、その他収益は 2 億 2,300 万ポンド減少し、2,200 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損の戻入純額は 2,600 万ポンド(2013 年:3,800 万ポンド)でした。これは多くのカウンターパーティーに関連するものです。
- 営業費用は 3%減少し、32 億 2,500 万ポンドとなりました。訴訟および特定行為に係る費用が増加したほか、主に欧州、アジア、北南米における事業再編策に関連する Transform 達成費用 2 億 8,200 万ポンド(2013 年:1 億 1,600 万ポンド)の計上により部分的に相殺されましたが、報酬費用の減少、そして事業再編や業務合理化を含む Transform プログラムの効果を反映したものです。
- Transform 達成費用を含め、収益に対する費用の比率は 13%上昇し、76%になりました。
- 税引前利益は 46%減少し、10 億 5,800 万ポンドとなりました。

<sup>1</sup> 出所: ディールロジック・デイリー・フィード、2014 年7月1日。

## 事業部門別業績

### 損益計算書 – 2014 年度第 2 四半期と 2013 年度第 2 四半期の比較

- 収益合計は 2008 年の米国リーマン買収に関連する前年度の 2 億 5,900 万ポンドの公正価値調整にともなう 8%の減少および為替の変動による 6%の減少を含め、16%減少し 21 億 5,400 万ポンドとなりました。これらの要因を除くと収益は 2%減少しました。
  - インベストメント・バンキングの手数料収益は債券および株式引受業務と財務アドバイザー業務の拡大を受け、35%増加し、6 億 6,100 万ポンドとなりました。
  - 市場業務の収益は 16%減少し、14 億 300 万ポンドとなりました。
    - 証券化商品からの収益の拡大を受け、クレジットは 13%増加し、2 億 7,000 万ポンドとなりました。
    - 株式の収益は 16%減少し、6 億 2,900 万ポンドとなりました。2013 年度第 2 四半期は市場の信頼感の高まりを背景とする世界的な株式市場の改善の恩恵を受けましたが、当四半期は現物株の顧客取引が減少したことが関係しています。
    - 当四半期は金利や通貨全般で顧客の取引高が減少したことから、マクロの収益は 27%減少し、5 億 400 万ポンドとなりました。
- 営業費用は Transform プログラムによる経費削減と為替の好影響があったものの、それを上回る事業再編や業務合理化を含む Transform 達成費用の計上と訴訟および特定行為に係る費用の増加を受け、12%増加し 15 億 9,400 万ポンドとなりました。
- 税引前利益は 50%減少し、5 億 6,700 万ポンドとなりました。

### 貸借対照表 – 2014 年 6 月 30 日と 2013 年 12 月 31 日の比較

- クレジット業務において証券化商品に対する顧客需要が増えたため、トレーディング・ポートフォリオ資産は 5%増加し 1,012 億ポンドになりました。
- 米ドルに対し英ポンドが上昇したことと、取引量が減少したことにより、デリバティブ資産は 4%減少し、1,042 億ポンドになりました。
- リバース・レポ取引は 6%増加し、自主限度額である 830 億ポンドになりました。
- リスク調整後資産は概ね横ばいの 1,255 億ポンドでした(2013 年 1,260 億ポンド)。

## 事業部門別業績

### パークレイズ・ノンコア

	2014年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 12月 31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年 6月 30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
<b>損益計算書関連の情報</b>				
利息収入純額	183	113	194	(6)
手数料収入純額	314	198	185	70
トレーディング収益純額	116	327	1,000	(88)
保険契約に基づく保険料収入純額	147	140	166	(11)
その他の収益／(損失)	53	192	101	(48)
<b>収益合計</b>	<b>813</b>	<b>970</b>	<b>1,646</b>	<b>(51)</b>
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(155)	(152)	(172)	10
<b>保険金控除後の収益合計</b>	<b>658</b>	<b>818</b>	<b>1,474</b>	<b>(55)</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(149)	(344)	(556)	73
<b>営業収益純額</b>	<b>509</b>	<b>474</b>	<b>918</b>	<b>(45)</b>
営業費用	(893)	(1,149)	(1,049)	15
Transform 達成費用	(41)	(120)	(418)	90
英国銀行税	-	(109)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(934)</b>	<b>(1,378)</b>	<b>(1,467)</b>	<b>36</b>
その他の(費用)／収益純額	(66)	14	(124)	47
<b>税引前損失</b>	<b>(491)</b>	<b>(890)</b>	<b>(673)</b>	<b>27</b>
株主帰属損失	(464)	(1,271)	(619)	25

### 貸借対照表関連の情報

銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	755 億ポンド	819 億ポンド	959 億ポンド
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	170 億ポンド	176 億ポンド	186 億ポンド
トレーディング・ポートフォリオ資産	229 億ポンド	307 億ポンド	415 億ポンド
デリバティブ資産	2,270 億ポンド	2,393 億ポンド	3,019 億ポンド
リバース・レポ取引およびその他類いの担保付貸付	868 億ポンド	1,047 億ポンド	1,236 億ポンド
資産合計	4,686 億ポンド	5,112 億ポンド	6,230 億ポンド
顧客預り金	286 億ポンド	293 億ポンド	342 億ポンド
リスク調整後資産 - CRD IV 完全施行ベース	875 億ポンド	1,099 億ポンド	n/a
平均割当有形株主資本	142 億ポンド	163 億ポンド	172 億ポンド
平均割当株主資本	145 億ポンド	165 億ポンド	175 億ポンド

### パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 <sup>1</sup>	(6.0%)	(9.6%)	(10.2%)
平均株主資本利益率 <sup>1</sup>	(4.5%)	(7.5%)	(7.3%)
収益に対する費用の比率	142%	168%	99%
貸倒率(ベース・ポイント)	45	81	114

### 収益合計内訳

事業部門	564	662	822	(31)
証券および貸付金	147	171	570	(74)
デリバティブ	(53)	(15)	82	
<b>収益合計</b>	<b>658</b>	<b>818</b>	<b>1,474</b>	<b>(55)</b>

<sup>1</sup> パークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズコア部門の利益率の差を示しています。

## 事業部門別業績

### パークレイズ・ノンコア

パークレイズ・ノンコア(BNC)は、パークレイズにとって戦略的に魅力がなくなった事業および資産を集めた部門であり、大きく3つの範疇に分けて管理されています。

- 全ての欧州リテールを含む事業
- インベストメント・バンクのポートフォリオ資産と英国コーポレートの長期の公正価値の貸付金を合わせた証券および貸付金
- CRD IV 導入以前の金利ポートフォリオを含むデリバティブ

これらの事業や資産は徐々に撤退していく予定で、既に2014年度上半期には一部の撤退を実施しました。

#### 損益計算書 – 2014年度上半期と2013年度上半期の比較

- 保険金控除後の収益合計は55%減少し、6億5,800万ポンドとなりました。
  - 事業収益は非戦略中心的な業務からの撤退と欧州リテール収益の減少から、31%減少し5億6,400万ポンドになりました。
  - 証券および貸付金は取引資産の縮小およびホールセール貸付ポートフォリオの公正価値調整、また2013年度において一部の証券化商品に有利な市場の変動があったことを主因に74%減の1億4,700万ポンドとなりました。
  - デリバティブ収益はCRD IV以前の金利ポートフォリオとヘッジ取引からの収益の減少を反映し、1億3,500万ポンド減少して5,300万ポンドの損失となりました。
- 信用に関する減損費用は4億700万ポンド改善して1億4,900万ポンドとなりました。前年、特定の顧客に対するエクスポージャーにかかる費用が当期は発生しなかったこと、リテールの信用パフォーマンスが改善していること、スペインの不動産および建設セクターに対するエクスポージャー圧縮の取り組みを反映してホールセール・ポートフォリオの費用が減少したことが主な要因です。
- 営業費用は以下の要因を反映し、37%減の9億3,400万ポンドとなりました。
  - 人件費、欧州リテールの従業員および営業拠点の削減など Transform プログラムの成果
  - 2013年度上半期に欧州リテールにおいて大幅な事業再編をしたことで、Transform 達成費用が3億7,700万ポンド減少し4,100万ポンドとなったこと
- その他の費用純額は5,800万ポンド減少し6,600万ポンドとなりました。これはパークレイズの戦略的見直しの影響を受けた地域の取引相手に対する契約上の義務に関して、第2四半期に認識された評価調整が減少したことを反映しています。
- 税引前損失は1億8,200万ポンド減少し4億9,100万ポンドとなりました。

#### 損益計算書 – 2014年度第2四半期と2014年度第1四半期の比較

- 税引前損失は1億8,300万ポンド増加し3億3,700万ポンドとなりました。非戦略的な自己取引業務からの撤退と証券の削減、取引相手に対する契約上の義務に関して認識された評価損益の調整などがその要因です。

#### 貸借対照表 – 2014年6月30日と2013年12月31日の比較

- 銀行および顧客に対する償却原価ベースの貸付金は Transform 戦略の一環として資産の圧縮と為替変動を反映し、8%減の755億ポンドとなりました。
- トレーディング・ポートフォリオ資産はポジションの撤退によって25%減少し229億ポンドとなりました。
- デリバティブ資産は満期による消滅と貸借対照表の縮小施策の実施により、5%減少し2,270億ポンドとなりました。
- リバース・レポ取引およびその他類似の貸付は、主に、貸借対照表のレバレッジ解消によりマッチド・ブック取引が減少した結果、17%減少し、868億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は顧客預り金残高の減少と為替変動を背景に2%減の286億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は証券の縮小と撤退、デリバティブ・リスクの削減を反映し、20%減少し、875億ポンドとなりました。

## 四半期業績

パークレイズグループ四半期業績	2014年度	2014年度	2013年度	2013年度	2013年度	2013年度	2012年度	2012年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期
	(百万ポンド)							
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	6,682	6,650	6,639	6,445	7,337	7,734	6,867	7,002
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(538)	(548)	(718)	(722)	(925)	(706)	(825)	(805)
<b>営業収益純額</b>	<b>6,144</b>	<b>6,102</b>	<b>5,921</b>	<b>5,723</b>	<b>6,412</b>	<b>7,028</b>	<b>6,042</b>	<b>6,197</b>
営業費用	(4,188)	(4,195)	(4,777)	(4,262)	(4,359)	(4,782)	(4,345)	(4,353)
Transform 達成費用	(254)	(240)	(468)	(101)	(126)	(514)	-	-
英国銀行税	-	-	(504)	-	-	-	(345)	-
<b>営業費用合計</b>	<b>(4,442)</b>	<b>(4,435)</b>	<b>(5,749)</b>	<b>(4,363)</b>	<b>(4,485)</b>	<b>(5,296)</b>	<b>(4,690)</b>	<b>(4,353)</b>
その他の(費用)/収益純額	(46)	26	19	25	(122)	54	43	21
<b>調整後税引前利益</b>	<b>1,656</b>	<b>1,693</b>	<b>191</b>	<b>1,385</b>	<b>1,805</b>	<b>1,786</b>	<b>1,395</b>	<b>1,865</b>
<b>調整項目</b>								
当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)	(67)	119	(95)	(211)	337	(251)	(560)	(1,074)
支払保障保険(PPI)に係る補償引当金	(900)	-	-	-	(1,350)	-	(600)	(700)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	-	-	-	(650)	-	(400)	-
のれんの減損	-	-	(79)	-	-	-	-	-
<b>法定税引前利益/(損失)</b>	<b>689</b>	<b>1,812</b>	<b>17</b>	<b>1,174</b>	<b>142</b>	<b>1,535</b>	<b>(165)</b>	<b>91</b>
法定税引後利益/(損失)	391	1,215	(514)	728	39	1,044	(364)	(13)
<b>以下に帰属するもの:</b>								
親会社の普通株主	161	965	(642)	511	(168)	839	(589)	(183)
その他の株主	41	49	-	-	-	-	-	-
非支配持分	189	201	128	217	207	205	225	170
調整後基本的1株当たり利益/(損失)	5.4ペンス	5.5ペンス	(2.8ペンス)	5.4ペンス	7.7ペンス	7.5ペンス	6.7ペンス	7.8ペンス
収益に対する費用の調整後比率	66%	67%	87%	68%	61%	68%	68%	62%
基本的1株当たり利益	1.0ペンス	6.0ペンス	(4.5ペンス)	3.8ペンス	(1.2ペンス)	6.3ペンス	(4.5ペンス)	(1.4ペンス)
収益に対する費用の比率	82%	66%	89%	70%	85%	71%	90%	85%
<b>パークレイズ・コア</b>								
保険金控除後の収益合計	6,397	6,277	6,189	6,076	6,773	6,824	6,115	6,278
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(456)	(481)	(542)	(554)	(558)	(517)	(600)	(628)
<b>営業収益純額</b>	<b>5,941</b>	<b>5,796</b>	<b>5,647</b>	<b>5,522</b>	<b>6,215</b>	<b>6,307</b>	<b>5,515</b>	<b>5,650</b>
営業費用	(3,738)	(3,753)	(4,114)	(3,776)	(3,853)	(4,239)	(3,844)	(3,906)
Transform 達成費用	(237)	(216)	(365)	(84)	(64)	(158)	-	-
英国銀行税	-	-	(395)	-	-	-	(263)	-
<b>営業費用合計</b>	<b>(3,975)</b>	<b>(3,969)</b>	<b>(4,874)</b>	<b>(3,860)</b>	<b>(3,917)</b>	<b>(4,397)</b>	<b>(4,107)</b>	<b>(3,906)</b>
その他の収益純額	27	20	15	15	13	43	21	12
<b>税引前利益</b>	<b>1,993</b>	<b>1,847</b>	<b>788</b>	<b>1,677</b>	<b>2,311</b>	<b>1,953</b>	<b>1,429</b>	<b>1,756</b>
<b>パークレイズ・ノンコア</b>								
保険金控除後の収益合計	285	373	450	368	564	911	752	724
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(82)	(67)	(176)	(168)	(367)	(189)	(226)	(177)
<b>営業収益純額</b>	<b>203</b>	<b>306</b>	<b>274</b>	<b>200</b>	<b>197</b>	<b>722</b>	<b>526</b>	<b>547</b>
営業費用	(451)	(442)	(664)	(485)	(507)	(542)	(500)	(447)
Transform 達成費用	(17)	(24)	(103)	(17)	(62)	(356)	-	-
英国銀行税	-	-	(109)	-	-	-	(82)	-
<b>営業費用合計</b>	<b>(468)</b>	<b>(466)</b>	<b>(876)</b>	<b>(502)</b>	<b>(569)</b>	<b>(898)</b>	<b>(582)</b>	<b>(447)</b>
その他の(費用)/収益純額	(72)	6	4	10	(135)	11	21	9
<b>税引前損失</b>	<b>(337)</b>	<b>(154)</b>	<b>(598)</b>	<b>(292)</b>	<b>(507)</b>	<b>(165)</b>	<b>(35)</b>	<b>109</b>

## 四半期業績

パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	2014年度	2014年度	2013年度	2013年度	2013年度	2013年度	2012年度	2012年度	
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	
	(百万ポンド)								
保険金控除後の収益合計	2,188	2,173	2,166	2,252	2,192	2,113	2,153	2,151	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(95)	(135)	(169)	(153)	(165)	(134)	(191)	(152)	
<b>営業収益純額</b>	<b>2,093</b>	<b>2,038</b>	<b>1,997</b>	<b>2,099</b>	<b>2,027</b>	<b>1,979</b>	<b>1,962</b>	<b>1,999</b>	
営業費用	(1,256)	(1,298)	(1,388)	(1,318)	(1,378)	(1,376)	(1,337)	(1,356)	
Transform 達成費用	(58)	(57)	(219)	(73)	(55)	(37)	-	-	
英国銀行税	-	-	(66)	-	-	-	(49)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(1,314)</b>	<b>(1,355)</b>	<b>(1,673)</b>	<b>(1,391)</b>	<b>(1,433)</b>	<b>(1,413)</b>	<b>(1,386)</b>	<b>(1,356)</b>	
その他(費用)／収益純額	1	5	3	1	7	30	3	7	
<b>税引前利益</b>	<b>780</b>	<b>688</b>	<b>327</b>	<b>709</b>	<b>601</b>	<b>596</b>	<b>579</b>	<b>650</b>	
<b>パークレイカード</b>									
保険金控除後の収益合計	1,082	1,042	1,034	1,050	1,030	989	987	956	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(268)	(269)	(266)	(290)	(272)	(268)	(265)	(259)	
<b>営業収益純額</b>	<b>814</b>	<b>773</b>	<b>768</b>	<b>760</b>	<b>758</b>	<b>721</b>	<b>722</b>	<b>697</b>	
営業費用	(420)	(402)	(457)	(455)	(424)	(450)	(472)	(401)	
Transform 達成費用	(23)	(13)	(38)	(6)	(5)	-	-	-	
英国銀行税	-	-	(22)	-	-	-	(15)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(443)</b>	<b>(415)</b>	<b>(517)</b>	<b>(461)</b>	<b>(429)</b>	<b>(450)</b>	<b>(487)</b>	<b>(401)</b>	
その他の収益純額	25	10	5	12	7	9	5	7	
<b>税引前利益</b>	<b>396</b>	<b>368</b>	<b>256</b>	<b>311</b>	<b>336</b>	<b>280</b>	<b>240</b>	<b>303</b>	
<b>アフリカ・バンキング</b>									
保険金控除後の収益合計	895	878	980	1,004	1,016	1,039	1,064	1,043	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(100)	(96)	(104)	(101)	(131)	(143)	(164)	(192)	
<b>営業収益純額</b>	<b>795</b>	<b>782</b>	<b>876</b>	<b>903</b>	<b>885</b>	<b>896</b>	<b>900</b>	<b>851</b>	
営業費用	(545)	(537)	(616)	(605)	(597)	(633)	(605)	(660)	
Transform 達成費用	(8)	(9)	(15)	(2)	(9)	-	-	-	
英国銀行税	-	-	(42)	-	-	-	(34)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(553)</b>	<b>(546)</b>	<b>(673)</b>	<b>(607)</b>	<b>(606)</b>	<b>(633)</b>	<b>(639)</b>	<b>(660)</b>	
その他の収益純額	2	4	-	3	4	1	12	3	
<b>税引前利益</b>	<b>244</b>	<b>240</b>	<b>203</b>	<b>299</b>	<b>283</b>	<b>264</b>	<b>273</b>	<b>194</b>	
<b>インベストメント・バンク</b>									
インベストメント・バンキング手数料	661	513	571	526	488	575	621	461	
貸付	66	103	68	42	141	74	42	(38)	
<b>バンキング</b>	<b>727</b>	<b>616</b>	<b>639</b>	<b>568</b>	<b>629</b>	<b>649</b>	<b>663</b>	<b>423</b>	
クレジット	270	346	231	308	239	479	248	356	
株式	629	591	421	524	750	602	419	490	
マクロ	504	552	494	457	689	940	609	841	
<b>市場</b>	<b>1,403</b>	<b>1,489</b>	<b>1,146</b>	<b>1,289</b>	<b>1,678</b>	<b>2,021</b>	<b>1,276</b>	<b>1,687</b>	
<b>バンキングと市場</b>	<b>2,130</b>	<b>2,105</b>	<b>1,785</b>	<b>1,857</b>	<b>2,307</b>	<b>2,670</b>	<b>1,939</b>	<b>2,110</b>	
その他	24	(2)	(3)	(6)	252	(7)	(8)	(8)	
<b>収益合計</b>	<b>2,154</b>	<b>2,103</b>	<b>1,782</b>	<b>1,851</b>	<b>2,559</b>	<b>2,663</b>	<b>1,931</b>	<b>2,102</b>	
信用に関する減損およびその他の引当金戻入／(費用)	7	19	(6)	(10)	10	28	21	(24)	
<b>営業収益純額</b>	<b>2,161</b>	<b>2,122</b>	<b>1,776</b>	<b>1,841</b>	<b>2,569</b>	<b>2,691</b>	<b>1,952</b>	<b>2,078</b>	
営業費用	(1,442)	(1,501)	(1,606)	(1,373)	(1,429)	(1,764)	(1,360)	(1,489)	
Transform 達成費用	(152)	(130)	(71)	(3)	-	(116)	-	-	
英国銀行税	-	-	(236)	-	-	-	(139)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(1,594)</b>	<b>(1,631)</b>	<b>(1,913)</b>	<b>(1,376)</b>	<b>(1,429)</b>	<b>(1,880)</b>	<b>(1,499)</b>	<b>(1,489)</b>	
<b>税引前利益／(損失)</b>	<b>567</b>	<b>491</b>	<b>(137)</b>	<b>465</b>	<b>1,140</b>	<b>811</b>	<b>453</b>	<b>589</b>	
<b>本社およびその他事業</b>									
保険金控除後の収益／(費用)合計	78	81	227	(81)	(24)	20	(20)	26	
信用に関する減損およびその他の引当金戻入／(費用)	-	-	3	-	-	-	(1)	(1)	
<b>営業収益／(費用)純額</b>	<b>78</b>	<b>81</b>	<b>230</b>	<b>(81)</b>	<b>(24)</b>	<b>20</b>	<b>(21)</b>	<b>25</b>	
営業費用	(76)	(15)	(47)	(25)	(25)	(16)	(70)	-	
Transform 達成費用	5	(7)	(22)	-	5	(5)	-	-	
英国銀行税	-	-	(29)	-	-	-	(26)	-	
<b>営業費用合計</b>	<b>(71)</b>	<b>(22)</b>	<b>(98)</b>	<b>(25)</b>	<b>(20)</b>	<b>(21)</b>	<b>(96)</b>	<b>-</b>	
その他(費用)／収益純額	(1)	1	7	(1)	(5)	3	1	(5)	
<b>税引前利益／(損失)</b>	<b>6</b>	<b>60</b>	<b>139</b>	<b>(107)</b>	<b>(49)</b>	<b>2</b>	<b>(116)</b>	<b>20</b>	

## 事業部門別のリターンおよび株主資本

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、当該期間の親会社の普通株主に帰属する利益を当該期間の(その他資本制金融商品にかかるクーポンに関して剰余金に計上されている税額控除による相殺について調整された)平均割当株主資本または平均割当有形株主資本(下記に記述しているアフリカ・バンキング以外の非支配持分およびその他の株主持分を除く)で適宜除して算出されます。平均割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用される仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む CRD IV 完全施行ベースでの資本控除を調整した後、各事業部門の CRD IV 完全施行ベースの平均リスク調整後資産の 10.5%として算出されます。2014 年 6 月 30 日現在の CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier1 資本比率 9.9%が 10.5%を下回っていることを反映し、グループ全体に割り当てられている過剰な資本は本社およびその他事業のマイナス資本として割り当てられます。平均割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

アフリカ・バンキングの平均株主資本利益率の計算にあたって使用されている株主資本は、(依然として BAGL に属していないパークレイズのエジプトおよびジンバブエ事業の持分と併せた)パークレイズの BAGL 法定持分およびこれらの事業の買収に伴うパークレイズののれんです。平均有形株主資本利益率の有形株主資本も同じベースで計算されていますが、買収に伴うパークレイズののれんと BAGL 法定資本に含まれるのれんおよび無形資産は除外されます。

	2014 年 6 月 30 日 に終了した半期	2013 年 12 月 31 日 に終了した半期	2013 年 6 月 30 日 に終了した半期
平均株主資本利益率	%	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	12.1%	9.1%	10.3%
パークレイカード	18.9%	14.3%	16.8%
アフリカ・バンキング	9.6%	6.6%	9.4%
インベストメント・バンク	5.7%	2.7%	15.7%
<b>パークレイズ・コア(本社を除く)</b>	<b>10.4%</b>	<b>7.2%</b>	<b>13.0%</b>
本社の影響 <sup>1</sup>	0.6%	1.6%	2.1%
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>11.0%</b>	<b>8.8%</b>	<b>15.1%</b>
パークレイズ・ノンコアの影響 <sup>1</sup>	(4.5%)	(7.5%)	(7.3%)
<b>調整後パークレイズ・グループ合計</b>	<b>6.5%</b>	<b>1.3%</b>	<b>7.8%</b>

	2014 年 6 月 30 日 に終了した半期	2013 年 12 月 31 日 に終了した半期	2013 年 6 月 30 日 に終了した半期
平均有形株主資本利益率	%	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	16.1%	12.0%	13.5%
パークレイカード	23.6%	18.2%	21.7%
アフリカ・バンキング	13.3%	9.3%	13.0%
インベストメント・バンク	5.9%	2.8%	16.3%
<b>パークレイズ・コア(本社を除く)</b>	<b>12.5%</b>	<b>8.6%</b>	<b>15.6%</b>
本社の影響 <sup>1</sup>	1.0%	2.5%	3.7%
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>13.5%</b>	<b>11.1%</b>	<b>19.3%</b>
パークレイズ・ノンコアの影響 <sup>1</sup>	(6.0%)	(9.6%)	(10.2%)
<b>調整後パークレイズ・グループ合計</b>	<b>7.5%</b>	<b>1.5%</b>	<b>9.1%</b>

<sup>1</sup> 本社とパークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、それぞれパークレイズ・コア部門とグループへのマイナスの影響度を意味しています。

2014 年 6 月 30 日

2013 年 12 月 31 日

2013 年 6 月 30 日

## 業績管理

親会社の普通株主に帰属する利益／(損失) <sup>1</sup>	に終了した半期 (百万ポンド)	に終了した半期 (百万ポンド)	に終了した半期 (百万ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,044	800	881
パークレイカード	540	383	439
アフリカ・バンキング	181	134	222
インベストメント・バンク	441	209	1,306
本社	31	84	(173)
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>2,237</b>	<b>1,610</b>	<b>2,675</b>
パークレイズ・ノンコア	(458)	(1,271)	(619)
<b>調整後パークレイズ・グループ合計</b>	<b>1,779</b>	<b>339</b>	<b>2,056</b>

### 平均株主資本

	2014年 6月 30日 に終了した半期 (億ポンド)	2013年 12月 31日 に終了した半期 (億ポンド)	2013年 6月 30日 に終了した半期 (億ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	173	175	172
パークレイカード	57	54	52
アフリカ・バンキング	38	41	47
インベストメント・バンク	156	156	166
本社 <sup>2</sup>	(18)	(60)	(83)
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>406</b>	<b>366</b>	<b>354</b>
パークレイズ・ノンコア	145	165	175
<b>パークレイズ・グループ合計</b>	<b>551</b>	<b>531</b>	<b>529</b>

### 平均有形株主資本

	2014年 6月 30日 に終了した半期 (億ポンド)	2013年 12月 31日 に終了した半期 (億ポンド)	2013年 6月 30日 に終了した半期 (億ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	130	133	131
パークレイカード	46	42	40
アフリカ・バンキング	27	29	34
インベストメント・バンク	149	150	160
本社 <sup>2</sup>	(21)	(64)	(87)
<b>パークレイズ・コア</b>	<b>331</b>	<b>290</b>	<b>278</b>
パークレイズ・ノンコア	142	163	172
<b>パークレイズ・グループ合計</b>	<b>473</b>	<b>453</b>	<b>450</b>

1 その他の株主に帰属する税引前利益 9,000 万ポンド(2013 年:ゼロポンド)の一部は、全事業横断的に割り当てられ、剰余金に計上されている税額控除 1,900 万ポンド(2013 年:ゼロポンド)によって相殺されます。相殺後残高である 7,100 万ポンドは、非支配持分同様、平均有形株主資本利益率および平均株主資本利益率の計算に際して、税引後利益から控除されます。従って、2014 年度上半期の帰属利益 17 億 6,000 万ポンドは、剰余金に計上されている税額控除 1,900 万ポンド(2013 年:ゼロポンド)について調整されています。

2 本社およびその他事業のリスク調整後資産と資本控除を含み、平均普通株主資本と平均有形普通株主資本の平均残高の残存残高を含みます。

## 業績管理

### 利ざやおよび残高<sup>1</sup>

	2014年6月30日に終了した半期			2013年6月30日に終了した半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	3,057	208,160	2.96	2,860	200,104	2.88
パークレイカード	1,500	33,410	9.05	1,385	30,932	9.03
アフリカ・バンキング	1,007	34,574	5.87	1,140	40,489	5.68
<b>パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、 パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの 合計</b>	<b>5,564</b>	<b>276,144</b>	<b>4.06</b>	<b>5,385</b>	<b>271,525</b>	<b>4.00</b>
インベストメント・バンク	334			164		
本社およびその他事業	1			(166)		
<b>コア</b>	<b>5,899</b>			<b>5,383</b>		
ノンコア	183			194		
<b>利息収入純額の合計</b>	<b>6,082</b>			<b>5,577</b>		

- PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキングの利息収入純額合計は3%増加し55億6,400万ポンドになりました。
  - アフリカ・バンキングにおいて英ポンドに対し南アフリカランドが下落したことによって、一部相殺されましたが、PCB部門のモーゲージ、預金、パークレイカードが伸び、平均顧客資産は2,761億ポンド(2013年:2,715億ポンド)に増加しました。
  - PCB部門での顧客預金の金利の低下と資金調達コストの低下を主因として、純利ざやが6ベーシ・ポイント増加し、4.06%になりました。
- 構造的なヘッジによる効果8億ポンド(2013年:8億ポンド)を含んだグループの利息収入純額は61億ポンドに増加しました(2013年:56億ポンド)。株式の構造的ヘッジ収益は、加重平均されたヘッジ期間が延びたため増加しました。これは低金利環境が継続する状況下、ヘッジを維持することによる商品の構造的ヘッジによって、一部相殺されました。
- 純利ざやは、グループがホールセール市場から代替資金調達を行う際のコストをベースとしたグループ全体の内部調達レートの変動を反映しています。内部調達レートはグループ内の資金調達や流動性のため、適切に純額ベースで余剰流動性を有している事業部門にクレジットを与え、実勢市場金利に期間プレミアムを含めたレートで代替資金調達が必要な事業部門へチャージするグループ内金利となります。
- 

#### PCB、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの四半期分析

	2014年6月30日に終了した四半期			2014年3月31日に終了した四半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,529	209,040	2.93	1,528	207,433	2.99
パークレイカード	754	33,904	8.92	746	32,911	9.19
アフリカ・バンキング	504	34,660	5.83	503	34,488	5.91
<b>パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、 パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの 合計</b>	<b>2,787</b>	<b>277,604</b>	<b>4.03</b>	<b>2,777</b>	<b>274,832</b>	<b>4.10</b>

<sup>1</sup> 利ざやは利息収入純額を平均顧客資産で除して計算しています。

## リスク管理

### リスク管理と主要リスク

パークレイズのリスク管理の責任は全社リスク管理フレームワーク(ERMF: Enterprise Risk Management Framework)で規定されています。ERMF は分掌と説明責任を明らかにし、グループの最も重要性の高いリスクが理解され、リスク選好度に基づき管理されること、また、リスク・エクスポージャーと統制の運用上の有効性の両面について、定期的に報告することを目的としたものです。ERMF は特に銀行横断的な統制フレームワークを構築するに値する、予見性、継続性、重要性のある、パークレイズが晒される可能性のあるリスクを対象としています。これらのリスクは「主たるリスク」と周知されているものであり、6つの「主要リスク」として分類されています。

こうしたリスクとそれらの管理要領についてのより詳細な情報は「2013年の年次報告書」、またはウェブサイトの[www.barclays.com/investorrelations](http://www.barclays.com/investorrelations)に掲載されています。当期間中に主たるリスクもしくはリスク管理についての大きな変更はなく、下半期においても変更は予想されていません。

以下のセクションでは、当期の資金調達リスクー流動性、資金調達リスクー資本、信用リスク、市場リスクのリスク状況について概要を説明します。

### 資金調達と流動性

当グループは、流動性リスクを管理するための包括的な流動性リスク管理フレームワーク(流動性フレームワーク)を備えています。

パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別個に管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報は BAGL を除外しており、BAGL については独立的に報告が成されます。現地での要件について調整するものの、BAGL の流動性リスクはパークレイズ・グループと一貫した基準で管理されています。

### 流動性ストレス・テスト

流動性フレームワークに基づき、当グループは各種ストレス・シナリオの下で予想されるストレス時の契約上および条件付の資金流出純額と比較した余剰流動性を参照して測定される流動性リスク選好度(LRA)を設定しています。これらのシナリオは市場全体のストレス・イベント、パークレイズ固有のストレス・イベントおよび両者の組み合わせを対象としています。通常の市場環境の下では、余剰流動性は市場全体のストレス時の90日間の予想資金流出額、およびパークレイズ固有のストレス時、複合ストレス時それぞれの30日間の予想資金流出額の少なくとも100%になるように管理されます。このうち、30日間のパークレイズ固有のシナリオが、ストレス時の流出額に対応するために最も大きな余剰流動性が求められます。

2010年6月以来、当グループはPRAが提示した個別流動性ガイダンス(ILG)に対する流動性ポジションを報告しています。また、当グループは流動性カバレッジ比率(LCR)および安定調達比率(NSFR)<sup>1</sup>を含む予想されるCRD IVおよびバーゼル3指標に対するポジションもモニターしています。

2014年6月30日現在、当グループは欧州銀行監督機構(EBA)によって導入されたCRD IVの規制に基づくLCRが107%(2013年:96%)になると見積もりました。これは規制水準を90億ポンド上回っています(2013年:60億ポンドの不足)。2013年1月にバーゼル銀行監督委員会が公表した基準に基づく、LCRは112%(2013年:102%)になると見積もっています。

2014年6月30日現在、当グループはパークレイズ固有のLRAシナリオおよびEBAによって導入されたCRD IVの規制に基づくLCRそれぞれの30日間のストレス時資金流出純額の100%を上回る適格流動資産を保有しています。

### 内部および規制に則ったストレス・テスト

	パークレイズの流動性リスク選好度(LRA)30日間のパークレイズの固有シナリオの必要額) <sup>2</sup> (億ポンド)	CRD IV 基準の流動性カバレッジ比率(LCR)の見積もり <sup>1</sup> (億ポンド)
適格流動性バッファ	1,340	1,410
ストレス時の資金流出純額	1,250	1,320
<b>余剰流動性</b>	<b>90</b>	<b>90</b>
2014年6月30日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	107%	107%
2013年12月31日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	104%	96%

<sup>1</sup> LCR およびNSFR の見積方法はそれぞれ CRD IV およびバーゼル III 基準の解釈に基づいており、CRD IV の最終決定に先立ち変更される可能性のある数多くの仮定を含むものです。本セクションでの推計 LCR と NSFR の見積りは BAGL を含むものです。

<sup>2</sup> LRA の一環としてモニターされている3つのストレス・シナリオのうち、30日間のパークレイズ固有のシナリオは最低比率の107%となります(2013年:104%)。これに対して、90日間の市場全体シナリオの下では128%(2013年:127%)、30日間の複合シナリオの下では114%(2013年:112%)となります。

## 資金調達リスクー流動性

外部規制上の要件および社内の流動性リスク選好度を充足しつつ、LRA および LCR の余剰は通常業務で期待される範囲にとどまっています。また規制の導入に先立ち、LCR を CRD IV ベースの規制で求められている 100%以上での維持が含まれます。

2014 年 1 月のバーゼル銀行監視委員会の協議 (BCBS コンサルテーション) の現状での解釈に基づくと、パークレイズの NSFR は 98%と見積もっています (2013 年: 95%)。これには銀行以外からの短期のリバースレポに対して必要とされる安定的な調達 50%の要件を含んでいます。2010 年の当初のバーゼルの発表には存在していなかったこの要件を含めない場合、NSFR は 113%になっていたと推計されます。規制時期として目標としている 2018 年のバーゼル委員会の規則の最終決定と現地の規制当局による導入に至るまで、更なる規制の変更が見込まれます。

パークレイズは内部および規制上のストレス要件に対する余剰流動性を効率的な水準で維持する予定です。パークレイズは引き続き金融市場、特に利用可能な資金調達の締め付けの初期兆候について、緊密にモニターしていく所存です。このような状況の中で、ストレス・シナリオの性質および深刻度は再評価され、余剰流動性に関して適切な措置が取られます。これにはストレス時の資金流出に対応するための余剰流動性の規模の一層の拡大ないし余剰流動性の貨幣化が含まれる可能性があります。

### 余剰流動性

当グループの余剰流動性は 1,340 億ポンド (2013 年: 1,270 億ポンド) でした。2014 年において、各月末時点の余剰流動性は 1,340 億ポンドから 1,560 億ポンド (2013 年: 1,270 億ポンドから 1,570 億ポンド) の範囲で推移し、月末平均残高は 1,450 億ポンドでした (2013 年: 1,440 億ポンド)。余剰流動性は担保に供されていない資産で、支払や決済要件の裏付けとして使用されるものではありません。

### グループ余剰流動性の構成

	余剰流動性 2014 年 6 月 30 日 現在		余剰流動性のうち CRDIV 基準の LCR 適格分 <sup>2</sup>		余剰流動性 2013 年 12 月 31 日 現在
	(億ポンド)	余剰流動性 のうち PRA 適格分 <sup>1</sup> (億ポンド)	レベル 1 (億ポンド)	レベル 2A (億ポンド)	(億ポンド)
<b>2014 年 6 月 30 日現在</b>					
現金および中央銀行預け金 <sup>3</sup>	420	410	400	-	430
<b>国債<sup>4</sup></b>					
AAA 格	580	570	580	-	520
AA+格から AA- 格	110	100	110	-	90
その他の国債	10	-	10	-	10
<b>国債合計</b>	<b>700</b>	<b>670</b>	<b>700</b>	<b>-</b>	<b>620</b>
<b>その他</b>					
国際機関債および国際開発銀行	60	30	60	-	30
政府機関および政府機関モーゲージ・バック証券	80	-	50	30	100
カバード債 (AA-格以上)	50	-	-	50	60
その他	30	-	-	-	30
<b>その他合計</b>	<b>220</b>	<b>30</b>	<b>110</b>	<b>80</b>	<b>220</b>
<b>2014 年 6 月 30 日現在合計</b>	<b>1,340</b>	<b>1,110</b>	<b>1,210</b>	<b>80</b>	
<b>2013 年 12 月 31 日現在合計</b>	<b>1,270</b>	<b>1,040</b>	<b>1,090</b>	<b>110</b>	

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。2014 年 6 月 30 日現在、余剰流動性の 92%はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在 (2013 年: 90%) し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク (BCI) 内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は各事業体固有のストレスによる資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

1 余剰流動性 1,110 億ポンド (2013 年: 1,040 億ポンド) は、BIPRU (銀行、ビルディング・ソサエティ、投資会社のためのプルデンシャル・ハンドブック) 127 項に規定されている PRA 要件を満たすものです。更に PRA の 2013 年 8 月の発表によれば、PRA がレベル 2 資産として特定した一部の資産は、経過措置として利用することができます。このようなレベル 2 資産を 100 億ポンド (2013 年: 90 億ポンド) 保有しています。

2 この本表に表示されている流動性カバレッジ比率 (LCR) 適格資産は当グループの余剰流動性に適格な資産のみを示しており、バーゼル銀行監督委員会によって定義されるレベル 2B 資産は含まれていません。

3 現金および中央銀行預け金の 95%超 (2013 年: 95%超) はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

4 国債の 85%超 (2013 年: 85%超) は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイスおよびオランダの債券です。

## 資金調達リスクー流動性

### 預金による調達

顧客向け貸付金の調達(BAGLを含む)	2014年6月30日現在			2013年 12月31日現在	
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 %	預貸率 %	
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	2,170	2,980			
パークレイカード	330	60			
ノン・コア(リテール)	390	160			
アフリカ・バンキング	340	330			
<b>資金調達合計</b>	<b>3,230</b>	<b>3,530</b>	<b>92</b>	<b>91</b>	
インベストメント・バンク、ノン・コア(ホールセール)および その他 <sup>1</sup>	1,200	910			
<b>合計</b>	<b>4,430</b>	<b>4,440</b>	<b>100</b>	<b>101</b>	

PCB、アフリカ・バンキング、パークレイカード、ノンコア(リテール)は概ね顧客預り金によって資金調達しています。これらの部門の預貸率は92%でした(2013年:91%)。貸付金を上回る顧客預り金は、主にこれらの事業の流動性バッファーとして利用されています。インベストメント・バンク部門はホールセール負債から調達しており、これらの事業からの顧客預り金からの調達に依存していません。グループ全体の預金に預貸率は100%(2013年:101%)と概ね変わりませんでした。

2014年6月30日現在で、顧客預り金合計1,250億ポンド(2013年:1,220億ポンド)が英国金融サービス補償スキームや他の類似スキームで保証されています。これらの顧客預り金に加え、その他の負債30億ポンド(2013年:30億ポンド)が政府によって補償もしくは保証されています。

### ホールセール調達

#### 2014年6月30日現在でのその他資産の調達

資産	(億ポンド)	負債	(億ポンド)
トレーディング・ポートフォリオ資産	590	レポ取引	1,740
リバース・レポ取引	1,150		
リバース・レポ取引	570	トレーディング・ポートフォリオ負債	570
デリバティブ	3,320	デリバティブ	3,250
余剰流動性 <sup>2</sup>	140	1年未満に満期が到来するホールセール負債	860
その他無担保資産 <sup>3</sup>	1,290	1年未満に満期が到来するホールセール負債および資本	1,540

- トレーディング・ポートフォリオ資産は大部分レポ取引によって調達されており、60%(2013年:63%)は非常に流動性の高い資産によって担保されています<sup>4</sup>。より流動性の乏しい資産によって担保されているレポ取引の加重平均満期は67日です。(2013年:69日)。
- リバース・レポ取引の半分以上はレポ取引と見合っています。2014年6月30日現在で見合っている取引のうち72%(2013年:76%)が流動性の高い資産<sup>4</sup>によって担保されています。残りのリバース・レポ取引はトレーディング・ポートフォリオ負債の決済のために利用されています。
- デリバティブ資産と負債はほぼ見合っています。貸借対照表上のデリバティブ・ポジションの大部分はカウンター・ネットティング要件を充たしており、残りのポジションはほぼ受入または差入現金担保とネットした後に、相殺されます。
- 当グループの余剰流動性は主にホールセール負債によって調達されており、残りは顧客預り金によって調達されています。
- その他の資産は、おおよそタム・ホールセール負債およびと資本と見合っています。

<sup>1</sup> 顧客向け貸付金に関連するトレーディング決済と現金担保残高840億ポンド(2013年:710億ポンド)と顧客預り金に関連する750億ポンド(2013年:620億ポンド)を含んでいます。

<sup>2</sup> 余剰流動性の部分はホールセール資金によって調達されていると見積もられています。

<sup>3</sup> ほとんどが売却可能投資、トレーディング・ポートフォリオ資産、公正価値で測定する金融資産および金融機関向け貸付金です。

<sup>4</sup> 高い流動性のある資産は、国債、米国政府機関債、米国政府機関モーゲージ・バック証券です。

## 資金調達リスク – 資本

### CRD IV 資本

欧州連合 (EU) は 2014 年 1 月 1 日、自己資本規制および改正資本要件指令 (CRD IV と総称されます) の下でバーゼル 3 の実施を開始しました。これらの規制は経過措置ルールの実施を含む、規制上の実務基準およびブルーデンス (健全性) 規制機構 (PRA) の規則集により補完されます。しかしながら、CRD IV の一部の要素は欧州銀行監督機構 (EBA) が公表し、欧州委員会および PRA が適用する予定の最終的な実務上の基準と明確化によって左右されるため、ルールおよびガイダンスは依然変更される可能性があります。自己資本、リスク調整後資産およびレバレッジの算出はすべてパークレイズによる現行ルールの解釈を反映したものです。

### 自己資本比率

	2014 年 6 月 30 日現在	2013 年 12 月 31 日現在
CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1) <sup>1</sup>	9.9%	9.1%
PRA 経過措置ルールに基づく普通株式 Tier 1 <sup>2</sup>	9.8%	9.1%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1	12.7%	11.3%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計	16.0%	15.0%

### 資本要素

	(百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>貸借対照表上の株主資本 (非支配持分を除く)</b>	<b>58,068</b>	<b>55,385</b>
- (控除) その他資本性金融商品 (AT1 資本として認識)	(4,326)	(2,063)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(596)	(640)
<b>少数株主持分 (連結普通株式 Tier 1 として認められるもの)</b>	<b>1,171</b>	<b>1,238</b>
<b>その他規制上の調整および控除:</b>		
追加的評価調整	(2,492)	(2,479)
のれんおよび無形資産 <sup>3</sup>	(7,828)	(7,618)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(1,062)	(1,045)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額 <sup>3</sup>	(532)	(270)
減損を上回る予想損失額	(2,036)	(2,106)
当グループ自体の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益 <sup>3</sup>	612	600
その他規制上の調整	(172)	(119)
当グループが発行した普通株式 Tier 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(25)	(496)
<b>完全施行ベース普通株式 Tier 1 資本</b>	<b>40,782</b>	<b>40,387</b>
未実現利益に係る規制上の調整 <sup>3</sup>	(513)	(180)
<b>PRA 経過措置ルールに基づく普通株式 Tier 1 資本</b>	<b>40,269</b>	<b>40,207</b>
<b>追加的 Tier 1 (AT1) 資本</b>		
資本準備商品および関連株式プレミアム	4,326	2,063
子会社が発行した AT1 資本 (少数株主持分を含む)	7,592	9,726
控除: 段階的廃止の対象となる子会社が発行した金融商品	(114)	(1,849)
その他規制上の調整および控除	(28)	-
<b>暫定追加的 Tier 1 資本</b>	<b>11,776</b>	<b>9,940</b>
<b>PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 資本</b>	<b>52,045</b>	<b>50,147</b>
<b>Tier 2 (T2) 資本</b>		
子会社が発行した適格 T2 資本 (少数株主持分を含む)	13,783	16,834
子会社によって発行された非適格となる資本性金融商品の控除	-	(522)
その他規制上の調整および控除	(85)	(12)
<b>PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計</b>	<b>65,743</b>	<b>66,447</b>

- 2014年6月30日現在、パークレイズの完全施行ベースのTier 1自己資本は453億6,400万ポンド、完全施行ベースのTier 1自己資本比率は11.0%でした。完全施行ベースの規制目的上の自己資本総額は617億4,000万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は15.0%でした。完全施行ベースのTier 1自己資本および自己資本総額の数値は、CRD IVが定めた移行ベースの規定を適用せず、また、CRD IVの関連基準に対する追加的Tier 1 (AT1) およびTier 2 (T2) 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。
- 経過措置ルールに基づく総自己資本は2013年12月にPRAが公表したPS 7/13<sup>4</sup>に示された規則に基づくものであり、既存の資本性金融商品に対する一定の制限を適用しないとする最低資本要件規制 (CRR) の経過措置を反映しています。

1 2014 年の CRD IV 完全施行の報告に伴って、2013 年 12 月 31 日に報告していたリスク調整後資産は 69 億ポンド修正されて 4,420 億ポンドになり、完全施行ベースの CET1 比率はマイナス 0.2% 修正されて 9.1% になりました。2014 年 3 月 31 日現在では、これらの数値はそれぞれ 57 億ポンドの増加、0.1% の減少となりました。これらの追加的なリスク調整後資産は本社およびその他事業に含まれています。

2 493 億ポンドの移行ベース CRD IV CET1 資本と 4,110 億ポンドのリスク調整後資産に基づくと、パークレイズの Tier2 コンテンジエンシー・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET1 比率 (FSA による 2012 年 10 月の暫定発表文) は 12.0% でした。

3 これらの項目の資本への影響は税引後のものです。

4 PS 7/13 とは、2013 年 12 月に公表された自己資本基準強化に関する PRA の方針「PS7/13」を意味します。

## 資金調達リスク – 資本

### (完全施行ベース) 普通株式 Tier 1 (CET1) 資本の変動

2014年6月30日に  
終了した6ヶ月  
(百万ポンド)

普通株式 Tier 1 資本の期首残高	40,387
当期純利益	1,216
当グループ自身の信用度に係る変動 <sup>1</sup>	12
配当金の変動	(755)
<b>利益から生じた規制上の留保資本</b>	<b>473</b>
剰余金の変動-株式報奨の正味影響額	305
売却可能投資再評価差の変動	345
為替換算再評価差額の変動	(941)
退職給付の再測定	237
その他の剰余金の変動	(205)
<b>その他の適格剰余金の変動</b>	<b>(259)</b>
<b>規制上の調整およびその他控除項目の増減:</b>	
少数株主持分	(67)
追加的評価調整	(13)
のれんおよび無形資産 <sup>1</sup>	(210)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(17)
予想損失額の計算から生じた減額	70
当グループが発行した普通株式 Tier 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	471
その他規制上の調整	(53)
<b>普通株式 Tier 1 資本の期末残高</b>	<b>40,782</b>

- 完全施行ベースの普通株式 Tier 1 比率は、普通株式 Tier1 自己資本が 4 億ポンド増の 408 億ポンドとなり、リスク調整後資産が 310 億ポンド減少したことを反映して、9.9%(2013年:9.1%)に上昇しました。
- パークレイズは利益から 12 億ポンドの自己資本を創出しました。当グループ自身の信用度に係る調整、配当金の支払い、および規制上の将来配当金を調整した後の利益から創出された留保規制資本は普通株式 Tier 1 資本を 5 億ポンド増加させました。普通株式 Tier 1 資本のその他の重要な変動は以下の通りです。
  - 経営上の判断による自社普通株式 Tier 1 商品保有控除の減少額 5 億ポンド。
  - 米ドル、南アフリカランドおよびユーロに対する英ポンド上昇を主因とした、為替変動による減少額 9 億ポンド。
  - 売却可能投資再評価差額における利益による増加額 3 億ポンド。
- 経過措置ルールに基づく自己資本総額は移行ベースで 7 億ポンド減少して 657 億ポンドとなりました。完全施行ベースの CET1 の増額は、CET1 における売却可能投資再評価差額の利益の除去および Tier2 における期限付劣後債の償還により相殺されました。
- パークレイズ・ピーエルシーは 2014 年度第 2 四半期に、15 億ポンドの優先株式と 6 億ポンドの Tier1 ノートおよび準備資本商品の交換の一環として固定金利リセッティング永久劣後コンティンジェント・コンバーチブル証券を発行しました。パークレイズ・ピーエルシーの商品は追加的 Tier1 資本の評価項目に完全準拠しており、適用除外とされていた従来の商品は差し替えられました。

<sup>1</sup> これらの項目の資本への影響は税引後のものです。

## 資金調達リスク – 資本

### リスク別および事業部門別リスク調整後資産

2014年 6月 30日現在	信用リスク (百万ポンド)	カウンター パーティー 信用リスク (百万ポンド)	市場リスク (百万ポンド)	オペレーショナル リスク (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	100,680	1,064	15	16,176	117,935
パークレイカード	32,176	-	-	5,505	37,681
アフリカ・バンキング	29,088	456	1,314	5,604	36,462
インベストメント・バンク	40,044	27,214	38,585	19,621	125,464
本社およびその他事業	3,818	395	577	1,185	5,975
<b>コア合計</b>	<b>205,806</b>	<b>29,129</b>	<b>40,491</b>	<b>48,091</b>	<b>323,517</b>
パークレイズ・ノン・コア	37,898	23,138	17,842	8,592	87,470
<b>リスク調整後資産合計</b>	<b>243,704</b>	<b>52,267</b>	<b>58,333</b>	<b>56,683</b>	<b>410,987</b>

### 2013年 12月 31日現在

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	102,385	823	57	15,020	118,285
パークレイカード	30,033	-	-	5,627	35,660
アフリカ・バンキング	29,242	538	1,429	6,837	38,046
インベストメント・バンク	38,517	30,711	38,677	18,096	126,001
本社およびその他事業 <sup>1</sup>	6,390	2,158	4,968	1,089	14,605
<b>コア合計</b>	<b>206,567</b>	<b>34,230</b>	<b>45,131</b>	<b>46,669</b>	<b>332,597</b>
パークレイズ・ノン・コア	48,797	25,861	27,574	7,642	109,874
<b>リスク調整後資産合計</b>	<b>255,364</b>	<b>60,091</b>	<b>72,705</b>	<b>54,311</b>	<b>442,471</b>

### リスクおよび手法別リスク調整後資産

2014年 6月 30日現在	(百万ポンド)
- 標準的手法	77,892
- 内部格付け手法	165,812
信用リスク	243,704
- 内部モデル方式	37,537
- 内部モデル方式非適用	14,730
カウンターパーティー・リスク	52,267
- 標準的手法	24,125
- VaR モデル方式	34,208
市場リスク	58,333
オペレーショナルリスク	56,683
<b>リスク調整後資産合計</b>	<b>410,987</b>

### リスク調整後資産変動の内訳

リスク調整後資産	信用リスク (億ポンド)	カウンター パーティー 信用リスク (億ポンド)	市場リスク (億ポンド)	オペレーショナル リスク (億ポンド)	合計 (億ポンド)
2014年 1月 1日現在	2,554	601	727	543	4,425
簿価残高	72	(129)	(100)	-	(157)
増加と(撤退対象事業を含んだ)減少	(45)	-	-	-	(45)
簿価の質	(21)	(11)	12	-	(20)
モデルの更新	37	32	(3)	24	90
手法と方針の変更	(90)	4	(51)	-	(137)
外国為替	(43)	-	-	-	(43)
その他	(27)	26	(2)	-	(3)
<b>2014年 6月 30日現在</b>	<b>2,437</b>	<b>523</b>	<b>583</b>	<b>567</b>	<b>4,110</b>

<sup>1</sup> 2014年のCRD IV完全施行の報告に伴って、2013年12月31日に報告していたリスク調整後資産は69億ポンド修正されて146億ポンドになりました。

## 資金調達リスク – 資本

リスク調整後資産は315億ポンド減少して4,110億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- ブックの規模変動によりリスク調整後資産は157億ポンド減少。主因はパークレイズ・ノンコア(BNC)部門内のトレーディング・ブックのリスク削減で、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)部門の貸借対照表の金額の増加およびパークレイカード部門の顧客に対する貸付金の増加により相殺。
- 買収および売却によりリスク調整後資産は45億ポンド減少。主因はBNC部門の資産売却。
- ブックの質の改善によりリスク調整後資産は20億ポンド減少。主因はインベストメント・バンクおよびPCB部門内のリスク構成の変動。
- モデルの更新によりリスク調整後資産は90億ポンド増加。主因はホールセール・ポートフォリオを対象としたデフォルト確率指標の改訂および年次オペレーション・リスクの更新。
- 手法と方針の変更によりリスク調整後資産は137億ポンド減少。主因は質の高い流動性資産の扱いの変更で、ホールセール・エクスポージャーを対象としたデフォルト時損失率(LGD)の下限の早期採用により相殺。
- 外国為替の変動によりリスク調整後資産は43億ポンド減少。主因は南アフリカランド、米ドル、ユーロに対する英ポンドの上昇。

### レバレッジ比率要件

CRD IV はリスクに基づく自己資本指標に対する補完的指標としてリスクに基づかないレバレッジ比率を導入しています。CRD IV は現在、拘束力を持つ要件を課していませんが、PRA はパークレイズに対し 2014 年 6 月までに 3% の CRD IV 調整後レバレッジ比率 – PRA レバレッジ比率 – を達成するよう求めています。PRA レバレッジ比率は PRA が定義した特定の控除を調整した完全施行ベースの CRD IV Tier1 資本、ならびに PRA 調整後 CRD IV レバレッジ・エクスポージャー指標に基づいて算出されます。

バーゼル委員会は 2014 年 1 月 12 日にバーゼル 3 レバレッジ比率の算出の改訂基準を公表しました。これらの基準には国際的な一貫性を保つために CRD IV の修正を必要とする多数の変更が盛り込まれていました。現在、こうした変更を実施するための法律上の手続きが進んでおり、2014 年後半に規則が最終決定されると予想されます。PRA は 2014 年 6 月にスーパーバイザー・ステートメント「SS3/13」を発表し、2014 年 7 月 1 日から適用されるバーゼル 3 算出改訂基準に基づいた 3% のレバレッジ比率に対する監督上の期待を示しました。この新基準に則したレバレッジ比率の算出においては、レバレッジ・エクスポージャーと Tier1 自己資本に対する PRA の調整が適用されなくなります。

パークレイズは、改訂される CRD IV の文言と規制当局のガイダンスに盛り込まれると予想される最新の要件の理解に基づいて「BCBS 270 レバレッジ比率」の推定値を開示しました。最終決定される規則では、算出手法に関する改訂後の CRD IV の文言が異なったものとなる可能性があります。

### PRA レバレッジ比率の算出

PRA レバレッジ比率の計算根拠の概要については、2013 年 12 月の決算報告書をご参照下さい。

### 改訂バーゼル銀行監督委員会 270 条(BCBS 270)レバレッジ比率の算出

改訂後の規則には、現行の CRD IV 規則のレバレッジ・エクスポージャーの計測とは異なる手法が数多く含まれます。主要な相違点は以下の通りです

- デリバティブに係るカウンターパーティー信用リスクは適格担保の適用、およびネットベースの信用デリバティブへのエクスポージャー価値の導入により減少する。
- ヘアカットが廃止される結果、証券金融取引(SFT)に係るカウンターパーティー信用リスクは変化するが、未収現金はバランスシート上の留保が義務付けられ、特定の状況においてのみネット可能となる。
- オフ・バランスシートの未使用コミットメントに関する規制上のアドオンは信用リスクに対する標準化アプローチにおいて使用される信用換算係数に基づく。

## 資金調達リスク – 資本

### 推定レバレッジ

	国際財務報告 基準 (IFRS) 貸借対照表 2014 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	バーゼル銀行 監視委員会 270 条レバレッジ・ エクスポージャー 2014 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	PRA レバレッジ・ エクスポージャー 2014 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	PRA レバレッジ・ エクスポージャー 2013 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)
<b>レバレッジ・エクスポージャー</b>				
<b>デリバティブ</b>				
IFRS デリバティブ 金融商品	3,330	3,330	3,330	3,550
デリバティブの時価評価および証拠金に係るネットインク調整		(2,980)	(2,680)	(2,880)
デリバティブに対する現金担保	480	170	390	480
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー		1,950	1,950	2,490
クレジット・プロテクション純額		290	-	-
<b>デリバティブ合計</b>		<b>2,760</b>	<b>2,990</b>	<b>3,640</b>
<b>証券金融取引 (SFT)</b>				
IFRS リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	1,720	1,990	1,720	1,870
IFRS 証券金融取引の廃止		-	(1,720)	(1,870)
証券金融取引に係るカウンターパーティ・リスク・レバレッジ・エクスポージャー措置		290	600	920
<b>証券金融取引 (SFT) 合計</b>		<b>2,280</b>	<b>600</b>	<b>920</b>
<b>その他資産および調整</b>				
貸付金およびその他資産	7,620	7,620	7,620	7,520
加重計算による未使用のコミットメント		1,050	1,770	1,790
規制上の控除およびその他調整		(180)	(320)	(220)
<b>その他資産および調整合計</b>		<b>8,490</b>	<b>9,070</b>	<b>9,090</b>
<b>完全施行ベースのレバレッジ・エクスポージャー</b>	<b>13,150</b>	<b>13,530</b>	<b>12,660</b>	<b>13,650</b>

	バーゼル銀行 監視委員会 270 条レバレッジ・ エクスポージャー 2014 年 6 月 30 日現在	PRA レバレッジ・ エクスポージャー 2014 年 6 月 30 日現在	PRA レバレッジ・ エクスポージャー 2013 年 12 月 31 日現在
普通株式 Tier 1 資本	40.8	40.8	40.4
追加的 Tier 1 資本	4.6	4.6	2.3
Tier 1 資本	45.4	45.4	42.7
普通株式 Tier 1 資本に対する PRA の控除		(2.2)	(2.2)
<b>PRA 調整後普通株式 Tier 1 資本</b>	<b>45.4</b>	<b>43.2</b>	<b>40.5</b>
<b>完全施行ベースのレバレッジ比率</b>	<b>3.4%</b>	<b>3.4%</b>	<b>3.0%</b>

- PRA レバレッジ・エクスポージャーは 990 億ポンド減少し、1 兆 2,660 億ポンドとなりました。デリバティブの将来の潜在エクスポージャー (PFE) および SFT の規制上のエクスポージャーの減少が主因です。
  - デリバティブの PFE の 540 億ポンドの減少は、取引の圧縮および解約による 180 億ポンドの減少、主に売りオプションに関連する計算の基準の変更による 130 億ポンドの減少、ネットインクとその他の最適化による 100 億ポンドの減少、および為替変動によるその他の減少を反映しています。
  - SFT の 320 億ポンドの減少は、ネットインク、担保およびその他の最適化、為替変動によるその他の減少が主因です。

## 資金調達リスク – 資本

---

- BCBS 270 レバレッジ・エクスポージャーの推定額は 1 兆 3,530 億ポンドで、SFT、デリバティブ、オフ・バランスシートの未使用コミットメントの扱いの変更による PRA レバレッジ・エクスポージャーの 870 億ポンドの増加を表しています。
  - SFT エクスポージャーの 1,810 億ポンドの増加は、オン／オフ・バランスシート上に 2,120 億ポンドの未収現金を含めたこと、および規制上のカウンターパーティー信用リスクエクスポージャーのアドオンの変更の結果、ヘアカットの廃止により 310 億ポンド減少したことを反映しています。
  - デリバティブの 230 億ポンドの減少は、適格デリバティブ担保を適用した結果、カウンターパーティー信用リスクエクスポージャーが 520 億ポンド減少したことが主因で、ネットベースの信用デリバティブのエクスポージャー価値の増加による 290 億ポンドの増加で一部相殺されました。
  - 未使用コミットメントの 720 億ポンドの減少は、信用リスクに対する標準化アプローチに用いられるエクスポージャーへの信用換算係数の適用を反映しています。

## 信用リスク

### リテール、ホールセール貸付金および減損の分析

	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損を除く) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRL の比率 %	貸付金に係る 減損費用 <sup>1</sup> (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ポイント
<b>2014年 6月 30日現在</b>							
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	143,839	1,302	142,537	2,648	1.8	133	19
アフリカ・バンキング	20,820	700	20,120	1,175	5.6	167	162
パークレイカード	34,854	1,607	33,247	1,606	4.6	537	311
パークレイズ・コア	199,513	3,609	195,904	5,429	2.7	837	85
パークレイズ・ノンコア	37,383	823	36,560	2,233	6.0	101	54
<b>グループ・リテール合計</b>	<b>236,896</b>	<b>4,432</b>	<b>232,464</b>	<b>7,662</b>	<b>3.2</b>	<b>938</b>	<b>80</b>
インベストメント・バンク	117,259	31	117,228	43	-	(26)	(4)
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	80,451	611	79,840	1,852	2.3	97	24
アフリカ・バンキング	15,263	263	15,000	633	4.1	29	38
本社およびその他事業	2,496	-	2,496	-	-	-	-
パークレイズ・コア	215,469	905	214,564	2,528	1.2	100	9
パークレイズ・ノン・コア	40,598	1,629	38,969	2,705	6.7	72	36
<b>グループ・ホールセール合計</b>	<b>256,067</b>	<b>2,534</b>	<b>253,533</b>	<b>5,233</b>	<b>2.0</b>	<b>172</b>	<b>14</b>
<b>グループ合計</b>	<b>492,963</b>	<b>6,966</b>	<b>485,997</b>	<b>12,895</b>	<b>2.6</b>	<b>1,110</b>	<b>45</b>
売買目的の貸付金	3,074	n/a	3,074				
公正価値で測定すると指定された貸付金	18,454	n/a	18,454				
<b>貸付金(公正価値で保有)</b>	<b>21,528</b>	<b>n/a</b>	<b>21,528</b>				
<b>貸付金合計</b>	<b>514,491</b>	<b>6,966</b>	<b>507,525</b>				
<b>2013年 12月 31日現在</b>							
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	140,742	1,325	139,417	2,703	1.9	357	25
アフリカ・バンキング	21,586	674	20,912	1,205	5.6	388	180
パークレイカード	33,024	1,517	31,507	1,541	4.7	1,096	332
パークレイズ・コア	195,352	3,516	191,836	5,449	2.8	1,841	94
パークレイズ・ノンコア	40,867	856	40,011	2,118	5.2	320	78
<b>グループ・リテール合計</b>	<b>236,219</b>	<b>4,372</b>	<b>231,847</b>	<b>7,567</b>	<b>3.2</b>	<b>2,161</b>	<b>91</b>
インベストメント・バンク	104,468	-	104,468	-	-	(30)	(3)
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	77,674	701	76,973	1,861	2.4	264	34
アフリカ・バンキング	15,793	352	15,441	722	4.6	89	56
本社およびその他事業	3,072	-	3,072	-	-	(3)	(10)
パークレイズ・コア	201,007	1,053	199,954	2,583	1.3	320	16
パークレイズ・ノン・コア	43,691	1,833	41,858	3,148	7.2	581	133
<b>グループ・ホールセール合計</b>	<b>244,698</b>	<b>2,886</b>	<b>241,812</b>	<b>5,731</b>	<b>2.3</b>	<b>901</b>	<b>37</b>
<b>グループ合計</b>	<b>480,917</b>	<b>7,258</b>	<b>473,659</b>	<b>13,298</b>	<b>2.8</b>	<b>3,062</b>	<b>64</b>
売買目的の貸付金	1,647	n/a	1,647				
公正価値で測定すると指定された貸付金	18,695	n/a	18,695				
<b>貸付金(公正価値で保有)</b>	<b>20,342</b>	<b>n/a</b>	<b>20,342</b>				
<b>貸付金合計</b>	<b>501,259</b>	<b>7,258</b>	<b>494,001</b>				

<sup>1</sup> 売却可能投資およびリバース・レポ取引にかかる減損費用を除いています。

## 信用リスク

- 銀行および顧客向け償却原価ベースの貸付金は主として下記増加要因を背景に4,860億ポンド(2013年:4,737億ポンド)に増加しました。
  - インベストメント・バンク部門において、主として取引量の増加に伴い増加した現金担保と決済残高の増加を要因に128億ポンド増加し、1,172億ポンドとなりました。
  - PCB部門で英国モーゲージの伸びとコーポレート貸付金が伸びたことによって、60億ポンド増加し、2,224億ポンドとなりました。

## 減損の分析

### 事業別信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額

	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した半期 (百万ポンド)	2013年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	230	322	299
パークレイカード	537	556	540
アフリカ・バンキング	196	201	276
インベストメント・バンク	(26)	8	(38)
本社およびその他事業	-	(3)	-
パークレイズ・コア	937	1084	1,077
パークレイズ・ノンコア	173	344	557
<b>貸付金減損費用合計<sup>1</sup></b>	<b>1,110</b>	<b>1,428</b>	<b>1,634</b>
売却可能投資商品にかかる減損費用	(19)	1	-
リバース・レポ取引にかかる減損費用	(5)	11	(3)
<b>信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額合計</b>	<b>1,086</b>	<b>1,440</b>	<b>1,631</b>

- パークレイズ・ノンコア、アフリカ・バンキング、PCB部門での低い減損費用の減少を反映し、貸付金の減損費用は32%減少し11億1,000万ポンドとなりました。
  - ノンコア部門で、インベストメント・バンクにおいて前年あった単一顧客に対するエクスポージャーに係る費用2億2,400万ポンドが当期には発生しなかったこととイベリアでのコーポレート部門でのエクスポージャーの削減への継続的な取り組みにより、69%減少し1億7,300万ポンドとなりました。
  - 南アフリカの住宅ローンポートフォリオにおける費用の減少と南アフリカランドの英ポンドに対する下落を主たる要因に、アフリカ部門で29%減少し1億9,600万ポンドとなりました。
  - 経済環境の好転を背景に、パーソナル・バンキング、モーゲージ、コーポレートで改善した結果、PCB部門で23%減少し、2億3,000万ポンドとなりました。
- 全体的な減損費用の減少から貸倒率は45ベースポイントに低下しました。(2013年:64ベースポイント)

<sup>1</sup> 未利用のファシリティと保証にかかる2,500万ポンド(2013年:1,700万ポンド)の費用を含みます。

## 信用リスク

### 顧客および銀行に対する貸付金の分析

#### 産業セクターおよび地域別貸付金(償却原価ベース、減損引当金控除後)

	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	米州 (百万ポンド)	アフリカ および中東 (百万ポンド)	アジア (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
<b>2014年6月30日現在</b>						
銀行	7,351	12,768	10,825	2,280	6,082	39,306
その他金融機関	27,260	22,175	46,524	2,793	7,604	106,356
住宅ローン	131,849	32,440	771	13,631	331	179,022
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	29,273	6,259	14,117	3,831	1,376	54,856
不動産・施設および設備	18,006	2,434	1,157	2,022	478	24,097
その他	41,255	12,685	8,048	16,183	4,189	82,360
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>254,994</b>	<b>88,761</b>	<b>81,442</b>	<b>40,740</b>	<b>20,060</b>	<b>485,997</b>
減損引当金	3,000	2,203	665	1,033	65	6,966
<b>顧客および銀行に対する貸付金総額</b>	<b>257,994</b>	<b>90,964</b>	<b>82,107</b>	<b>41,773</b>	<b>20,125</b>	<b>492,963</b>
<b>貸付金(公正価値で測定)</b>	<b>16,571</b>	<b>1,479</b>	<b>2,758</b>	<b>643</b>	<b>77</b>	<b>21,528</b>
<b>2013年12月31日現在</b>						
銀行	5,796	12,353	10,154	2,394	6,691	37,388
その他金融機関	22,052	17,719	49,157	6,118	8,124	103,170
住宅ローン	129,591	34,752	782	14,051	351	179,527
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	28,168	6,792	12,630	3,842	1,283	52,715
不動産・施設および設備	18,155	2,402	956	2,288	150	23,951
その他	39,381	12,513	7,450	13,444	4,120	76,908
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>243,143</b>	<b>86,531</b>	<b>81,129</b>	<b>42,137</b>	<b>20,719</b>	<b>473,659</b>
減損引当金	2,980	2,486	654	1,079	59	7,258
<b>顧客および銀行に対する貸付金総額</b>	<b>246,123</b>	<b>89,017</b>	<b>81,783</b>	<b>43,216</b>	<b>20,778</b>	<b>480,917</b>
<b>貸付金(公正価値で測定)</b>	<b>15,992</b>	<b>1,974</b>	<b>1,617</b>	<b>700</b>	<b>59</b>	<b>20,342</b>

## 信用リスク

### 潜在的クレジット・リスク・ローン(CRL)およびカバレッジ比率の分析

	CRLs		潜在的問題貸金		潜在的 CRLs	
	2014年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2014年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2014年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	2,648	2,703	215	241	2,863	2,944
アフリカ・バンキング	1,175	1,205	182	194	1,357	1,399
パークレイカード	1,606	1,541	188	182	1,794	1,723
パークレイズ・コア	5,429	5,449	585	617	6,014	6,066
パークレイズ・ノンコア	2,233	2,118	76	91	2,309	2,209
<b>リテール・グループ合計</b>	<b>7,662</b>	<b>7,567</b>	<b>661</b>	<b>708</b>	<b>8,323</b>	<b>8,275</b>
インベストメント・バンク	43	-	91	106	134	106
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,852	1,861	745	840	2,597	2,701
アフリカ・バンキング	633	722	108	112	741	834
本社およびその他事業	-	-	-	-	-	-
パークレイズ・コア	2,528	2,583	944	1,058	3,472	3,641
パークレイズ・ノンコア	2,705	3,148	82	42	2,787	3,190
<b>ホールセール・グループ合計</b>	<b>5,233</b>	<b>5,731</b>	<b>1,026</b>	<b>1,100</b>	<b>6,259</b>	<b>6,831</b>
<b>グループ合計</b>	<b>12,895</b>	<b>13,298</b>	<b>1,687</b>	<b>1,808</b>	<b>14,582</b>	<b>15,106</b>

  

	減損引当金		CRLカバレッジ比率		PCRLカバレッジ比率	
	2014年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2014年 6月30日 現在 %	2013年 12月31日 現在 %	2014年 6月30日 現在 %	2013年 12月31日 現在 %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,302	1,325	49.2	49.0	45.5	45.0
アフリカ・バンキング	700	674	59.6	55.9	51.6	48.2
パークレイカード	1,607	1,517	100.1	98.4	89.6	88.0
パークレイズ・コア	3,609	3,516	66.5	64.5	60.0	58.0
パークレイズ・ノンコア	823	856	36.9	40.4	35.6	38.8
<b>リテール・グループ合計</b>	<b>4,432</b>	<b>4,372</b>	<b>57.8</b>	<b>57.8</b>	<b>53.3</b>	<b>52.8</b>
インベストメント・バンク	31	-	72.1	-	23.1	-
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	611	701	33.0	37.7	23.5	26.0
アフリカ・バンキング	263	352	41.5	48.8	35.5	42.2
本社およびその他事業	-	-	-	-	-	-
パークレイズ・コア	905	1,053	35.8	40.8	26.1	28.9
パークレイズ・ノンコア	1,629	1,833	60.2	58.2	58.4	57.5
<b>ホールセール・グループ合計</b>	<b>2,534</b>	<b>2,886</b>	<b>48.4</b>	<b>50.4</b>	<b>40.5</b>	<b>42.2</b>
<b>グループ合計</b>	<b>6,966</b>	<b>7,258</b>	<b>54.0</b>	<b>54.6</b>	<b>47.8</b>	<b>48.0</b>

- クレジット・リスク・ローン(CRLs)は3.0%減少し、129億ポンドになりました。
- ホールセール・ポートフォリオにおけるCRLは8.7%減少し、52億ポンドになりました。これは主にノンコア部門のイベリアにおけるコーポレート部門でのエクスポージャーの削減への継続的な取り組みによるものです。
- リテール・ポートフォリオにおけるCRLは横ばいで77億ポンドでした。ノンコア部門における増加はアフリカ部門の住宅ローンポートフォリオにおける減少によって相殺されました。
- 当グループのCRLカバレッジ比率は54.0%と安定していました(2013年:54.6%)。

## 信用リスク

### ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 当グループは、ユーロ圏の継続的なボラティリティに起因する信用リスクおよび市場リスクを認識しており、厳しい経済情勢に伴うリスクを軽減するための組織的な措置を講じるとともに、引き続き注意深く状況をモニタリングしています。
- 2014 年度上半期にスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロスおよびギリシャに対する当グループの貸借対照表上の正味エクスポージャーは 11% 減少して 474 億ポンドとなりました。これは貸付金の返済によって金融機関向けが 31% 減少したことと、新規貸付の減少により住宅モーゲージに対するエクスポージャーが 7% 減少し、293 億ポンドとなったことが主因です。
- 2014 年 6 月 30 日現在、イタリアにおける現地の資金調達純額ベースでの不足額は 108 億ユーロ (2013 年度: 116 億ユーロ)、ポルトガルにおける同不足額は 26 億ユーロ (2013 年度: 30 億ユーロ) でした。スペインにおける資金調達純額ベースの余剰額は 24 億ユーロ (2013 年度: 31 億ユーロ) でした。
- 下表は、リスクが高いために経営的視点から特に重点的に管理する対象として社内でモニターしているユーロ圏諸国に対するパークレイズのエクスポージャーを示しています。作成基準は 2013 年度の年次報告書で説明した基準に基づいています。
- 正味エクスポージャーは当グループがさらされている信用リスクの最も適切な測定基準です。総エクスポージャーもオフ・バランスシートの偶発債務および契約債務とともに下表に示しています。

2014 年 6 月 30 日現在	ソブリン (百万ポンド)	金融機関 (百万ポンド)	法人 (百万ポンド)	住宅 モーゲージ (百万ポンド)	その他 リテール貸付 (百万ポンド)	貸借対照表上 の正味エク スポージャー (百万ポンド)	貸借対照表上の 総エク スポージャー (百万ポンド)	偶発債務 および 契約債務 (百万ポンド)
スペイン	134	753	2,736	11,710	1,984	17,317	25,198	
イタリア	1,898	681	1,377	14,284	1,592	19,832	26,396	2,773
ポルトガル	165	43	653	3,187	1,370	5,418	5,793	1,575
アイルランド	30	2,972	1,394	92	88	4,576	8,217	1,521
キプロス	42	2	118	20	41	223	322	28
ギリシャ	-	27	35	6	6	74	1,119	2
<b>合計</b>	<b>2,269</b>	<b>4,478</b>	<b>6,313</b>	<b>29,299</b>	<b>5,081</b>	<b>47,440</b>	<b>67,045</b>	<b>9,234</b>
<b>2013 年</b>								
<b>12 月 31 日現在</b>								
スペイン	184	1,029	3,203	12,537	2,292	19,245	26,474	3,253
イタリア	1,556	417	1,479	15,295	1,881	20,628	27,341	3,124
ポルトガル	372	38	891	3,413	1,548	6,262	6,608	2,288
アイルランド	67	5,032	1,356	103	100	6,658	10,051	2,047
キプロス	-	7	106	19	43	175	256	66
ギリシャ	8	5	51	6	12	82	903	3
<b>合計</b>	<b>2,187</b>	<b>6,528</b>	<b>7,086</b>	<b>31,373</b>	<b>5,876</b>	<b>53,050</b>	<b>71,633</b>	<b>10,781</b>

## 市場リスク

### 取引市場リスク

2014 年上半期のトレーディング勘定の日次バリュー・アット・リスク(DVaR)の平均は市場取引の減少に伴い低下しました。

### 管理 VaR の分析

- 下表は、リスク要因別の分散ベースの管理 VaR 合計を示しています。管理 VaR 合計にはインベストメント・バンク、ノンコアおよびアフリカ・バンキングの全トレーディング・ポジションが含まれています。
- 各リスク要因 VaR および管理 VaR 合計には上限が適用され、この上限はリスク管理者によりさらに各事業部門に割り振られます。
- 2014 年度上半期の平均管理 VaR は低下しました。2013 年度上半期よりも市場ボラティリティが低下したことやポジション全体が減少したことを反映したものです。2014 年度上半期の管理 VaR は 1,800 万ポンドまで低下しました。

管理 VaR(95%)	2014 年 6 月 30 日に終了した 6 ヶ月			2013 年 12 月 31 日に終了した 6 ヶ月			2013 年 6 月 30 日に終了した 6 ヶ月		
	日次平均 (百万ポンド)	最大 <sup>1</sup> (百万ポンド)	最小 <sup>1</sup> (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 <sup>1</sup> (百万ポンド)	最小 <sup>1</sup> (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 <sup>1</sup> (百万ポンド)	最小 <sup>1</sup> (百万ポンド)
クレジット・リスク	12	15	9	16	21	12	21	25	17
金利リスク	10	14	6	11	16	7	14	24	6
スプレッド・リスク	5	8	3	7	9	5	15	21	7
ベース・リスク	6	8	4	9	13	7	13	17	9
株式リスク	12	23	8	11	17	6	10	21	5
コモディティ・リスク	3	8	2	4	6	2	5	8	4
為替リスク	4	6	2	3	7	2	4	7	2
インフレ・リスク	3	4	2	3	5	2	4	8	2
分散効果 <sup>1</sup>	(32)	-	-	(38)	-	-	(55)	-	-
<b>管理 VaR 合計</b>	<b>23</b>	<b>31</b>	<b>18</b>	<b>26</b>	<b>33</b>	<b>21</b>	<b>31</b>	<b>39</b>	<b>23</b>

- 2014 年度上半期には信用 VaR に代わって株式 VaR が最大寄与要因となり、これは株式事業部門の取引水準および収益パフォーマンスに反映されました。
- DVaR 合計に寄与した 3 大要因は、株式、信用および金利リスクでした。2013 年度上半期の平均水準に比べて、平均 DVaR は、スプレッド・リスクが 1,000 万ポンド(67%)、信用リスクが 900 万ポンド(43%)、ベース・リスクが 700 万ポンド(54%)、金利リスクが 400 万ポンド(29%)それぞれ減少しました。当グループの平均 DVaR は 2013 年度上半期の水準から 800 万ポンド(26%)減少しました。
- 事業は 2014 年度上半期を通じて、リスク別 VaR および VaR 合計ともに、取締役会金融リスク委員会が承認した管理 VaR の上限の範囲内に収まりました。
- 規制上の市場リスク資本算出のため、DVaR は 99%水準で算出されます。モデルは日次のバック・テストの対象であり、年間の損益数値と比較されます。DVaR モデルはバック・テストにおいて良好なパフォーマンスを示しており、PRA の規定する「グリーン」分類を維持しています。

<sup>1</sup> 各カテゴリで報告された最大 DVaR と最小 DVaR の数値は、必ずしも全体として報告された最大 DVaR、最小 DVaR と同一の日を生じたわけではありません。したがって、最大 DVaR と最小 DVaR に対する分散効果は重要でないと考えられ、上表から省略されています。

## 市場リスク

### 利息収入純額の感度解析

年次アーニング・アット・リスク(AEaR)は非取引市場リスクに対するエクスポージャーの計測および管理に用いられる主要な収益リスク指標です。AEaRは、現行イールド・カーブに200 ベーシス・ポイントの平行上昇または低下を適用して、向こう12ヶ月間の利息収入純額の感応度を計測するものです。200 ベーシス・ポイントのショックは業界のベスト・プラクティスと一致し、銀行規制当局からも支持されているものです。

下表は、2014年5月31日現在および2013年12月31日現在で保有されていた非トレーディング金融資産および金融負債の税引前利息収入純額の感度解析を示しています。

このモデルの主な仮定は次の通りです。

- 貸借対照表は固定ベース(将来にわたり一定)で推定されるため、AEaR 感応度の変化はすべて残高の変動ではなく金利ショックに関連するものです。
- 残高は想定行動的特性に調整されています。これにはモーゲージを含む固定金利貸付の処理が含まれます。
- 平行低下ショックの下限は金利0%を想定しています。

### 事業部門別利息収入純額の感応度(AEaR)

2014年5月31日に終了した期間 <sup>1</sup>	パーソナル・ アンド・コーポレート・ バンキング		パークレイカード	アフリカ	ノン・コア	その他	合計
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド) <sup>2</sup>	(百万ポンド)	(百万ポンド) <sup>3</sup>	(百万ポンド)
+200 ベーシスポイント	412	(74)	28	2	(66)	302	
+100 ベーシスポイント	224	(35)	14	1	(53)	151	
-100 ベーシスポイント	(418)	24	(14)	(1)	(8)	(417)	
-200 ベーシスポイント	(461)	24	(26)	(1)	(17)	(481)	
<b>2013年12月31日に終了した期間</b>							
+200 ベーシスポイント	373	(84)	19	9	(92)	225	
+100 ベーシスポイント	195	(42)	9	5	(57)	110	
-100 ベーシスポイント	(315)	25	(8)	(1)	56	(243)	
-200 ベーシスポイント	(352)	26	(15)	(1)	49	(293)	

マイナス200 ベーシス・ポイントの金利ショックに対する AEaR 合計は64%増加してマイナス4億8,100万ポンド(2013年: マイナス2億9,300万ポンド)となりました。プラス200 ベーシス・ポイントの金利ショックに対する AEaR 合計は34%増の3億200万ポンド(2013年12月31日: 2億2,500万ポンド)でした。この違いの要因は主にPCB部門の以下の要因によるものでした。

- 2014年5月14日から、全 AEaR 数値の中に、再プライシング・ラグによるリスクを含めたこと。
- 予想ベース金利パスのステイプニング(次回ベース金利上昇は従来予想の2015年2月ではなく、2014年12月に発生すると予想されている)。これにより負債商品の資金調達収益に対するショックが大きくなります。

<sup>1</sup> 入手可能な最新データである2014年5月のデータに基づいています。

<sup>2</sup> インベストメント・バンキング事業を除いています。

<sup>3</sup> その他は当グループ財務およびヘッジの無効性のために行われる調整で構成されています。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

### 11. 引当金

	2014年 6月30日現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日現在 (百万ポンド)
特定行為に係る救済		
-支払保障保険(PPI)に係る補償	1,295	971
-金利ヘッジ商品に係る補償	648	1,169
-その他の行為	288	388
訴訟	358	485
余剰人員削減および事業再編	344	388
未実行のコミテッド・ファシリティおよび提供された保証	180	165
不利な契約	108	100
その他引当金	224	220
<b>合計</b>	<b>3,445</b>	<b>3,886</b>

#### 支払保障保険(PPI)に係る補償

2013年12月31日現在で、パークレイズは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および請求取扱費用に対して累計総額39億5,000万ポンドを引当金として認識していました。このうち29億8,000万ポンドが取り崩され、同日現在の残高は9億7,000万ポンドとなっています。

2014年度上半期中の引当金の取り崩しは5億7,600万ポンドで、2013年度上半期(6億8,000万ポンド)に比べて15%、2013年度下半期(6億8,500万ポンド)に比べて16%それぞれ減少しました。2014年6月30日現在で、顧客が開始した110万件(2013年12月31日現在:100万件)の請求<sup>1</sup>が受理され、処理されています。2014年度上半期に受理された月間請求件数は2013年度上半期対比で22%、2013年度下半期対比で10%、それぞれ減少しています。請求管理会社(CMC)を通じて受理された請求件数水準が2014年度第2四半期で特に増加したことによって、減少率は従来の予想を下回っています。顧客からの直接請求件数が69%減少したのに対し、CMCを通じて受理された請求件数が2012年5月のピーク時からわずか39%しか減少していません。

重大な経営者の判断が伴う多くの重要な仮定とモデリングを参照して、適切な引当金が算出されています。

- 顧客請求件数 – 受理されたが2014年6月30日現在未処理の請求および今後顧客が開始する請求の見積もり。
- 積極的回答率 – 積極的な通知の郵送の結果発生した請求件数。
- 承認率 – 審査の結果、有効であるとして承認された請求の比率。
- 平均補償額 – 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。

予想されていたより請求件数の減少が進まず、金融オンブスマン・サービス(FOS)に委託されるケースとそれに関連する事務コストに充当するため、2014年6月に9億ポンドの追加引当金が計上されました。2014年6月30日現在、これまでの累積取崩額は35億6,000万ポンドになり、引当金の残高は13億ポンドとなっています。

引当金の基礎となる仮定は、特にCMCの活動から生じる苦情を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的です。現在の引当金はPPIに係る補償のあらゆる将来的な予想費用に関するパークレイズの最良の見積もりを表しています。しかしながら、将来の請求件数の不透明性から、最終的な結果が現在の見積もりと異なる可能性があります。その相違が大幅な場合には追加引当金が増額または減額されることとなります。

下表は、重要な仮定別に2014年6月30日までの実績データ、引当金算出に使用した予測の仮定および感度解析を詳述し、将来予測の仮定が乖離した場合の引当金への影響を説明しています。

<sup>1</sup> 今日までに受領した請求件数はCMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。この感応度はFOSからの委託と関連する費用と事務費用を含んでいます。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

### 仮定

	2014年		感度解析 引当金の増加/減少
	6月30日までの 累計実績	将来予測	
顧客が開始した請求の受理および処理件数 <sup>1</sup>	112万件	33万件	50万件 = 9,800万ポンド
積極的な通知郵送	68万件	32万件	50万件 = 1,800万ポンド
積極的な通知郵送に対する回答率	28%	20%	1% = 500万ポンド
請求1件当たりの平均承認率 <sup>2</sup>	76%	81%	1% = 700万ポンド
正当な請求1件当たりの平均補償額 <sup>3</sup>	1,797ポンド	1,668ポンド	100ポンド = 3,800万ポンド

### 金利ヘッジ商品にかかる補償

	引当金(百万ポンド)
2013年12月31日現在	1,169
期中の引当金の増加	-
期中の引当金の取り崩し	(521)
2014年6月30日現在	648

2014年6月30日現在、顧客に対する補償支払を主因とする2014年度上半期の取り崩し5億2,100万ポンドを控除した金利ヘッジ商品に係る補償引当金は6億4,800万ポンドとなっています。補償結果は審査対象であるノンソフィステイケートドに区分される顧客の約95%に通知されました。現在、審査対象の顧客の60%超が補償全額の支払をすでに受けているか、補償の対象ではありません。

将来の費用の見積もりに大幅な変化はなく、当グループは引当金が補償措置を完了するための費用全額を賄うのに十分であると予想しております。潜在的な増分間接損失請求(単利年8%超の利息と税率の差異のための控除)に係る引当金は認識されておりません。2014年6月30日現在、ノンソフィステイケートドに区分される顧客からの大幅な増分間接損失請求についての合意はありません。増分間接損失請求およびソフィステイケートドに区分される顧客からの請求をモニターし、発生する可能性が高い資金流出に帰結する債務が確認される範囲で将来の引当金を認識します。

1 今日までに受領した請求件数は CMC 経由で受理したものを含んでいますが、PPI 保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。この感応度は FOS からの委託と関連する費用と事務費用を含んでいます。

2 1件当たりの平均承認率は PPI 保険証書が存在しない場合を除いています。

3 1証書当たりの平均保障額

## 財務書類に関する注記(抜粋)

### 19. セグメント別開示

事業部門別業績の内訳	パーソナル・アンド・ コーポレート・ バンキング	パークレイカード	アフリカ・ バンキング	インベストメント・ バンク
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	4,361	2,124	1,773	4,257
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(230)	(537)	(196)	26
<b>営業収益純額</b>	<b>4,131</b>	<b>1,587</b>	<b>1,577</b>	<b>4,283</b>
営業費用	(2,554)	(822)	(1,082)	(2,943)
Transform 達成費用	(115)	(36)	(17)	(282)
その他の収益純額 <sup>1</sup>	6	35	6	-
<b>税引前利益</b>	<b>1,468</b>	<b>764</b>	<b>484</b>	<b>1,058</b>
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>2,681</b>	<b>362</b>	<b>524</b>	<b>4,478</b>

事業部門別業績の内訳	本社および その他事業	パークレイズ・ コア	パークレイズ・ ノンコア	パークレイズ・ グループ
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	159	12,674	658	13,332
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	(937)	(149)	(1,086)
<b>営業収益純額</b>	<b>159</b>	<b>11,737</b>	<b>509</b>	<b>12,246</b>
営業費用	(91)	(7,491)	(893)	(8,383)
Transform 達成費用	(2)	(453)	(41)	(494)
その他の(費用)/収益純額 <sup>1</sup>	-	47	(66)	(20)
<b>税引前利益/(損失)</b>	<b>66</b>	<b>3,840</b>	<b>(491)</b>	<b>3,349</b>
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>417</b>	<b>8,462</b>	<b>4,686</b>	<b>13,149</b>

事業部門別業績の内訳	パーソナル・アンド・ コーポレート・ バンキング	パークレイカード	アフリカ・ バンキング	インベストメント・ バンク
2013年12月31日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	4,418	2,084	1,984	3,633
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(322)	(556)	(205)	(16)
<b>営業収益純額</b>	<b>4,096</b>	<b>1,528</b>	<b>1,779</b>	<b>3,617</b>
営業費用	(2,772)	(934)	(1,263)	(3,215)
Transform 達成費用	(292)	(44)	(17)	(74)
その他の収益純額 <sup>1</sup>	4	17	3	-
<b>税引前利益</b>	<b>1,036</b>	<b>567</b>	<b>502</b>	<b>328</b>
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>2,785</b>	<b>344</b>	<b>549</b>	<b>4,396</b>

事業部門別業績の内訳	本社および その他事業	パークレイズ・ コア	パークレイズ・ ノンコア	パークレイズ・ グループ
2013年12月31日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	146	12,265	818	13,084
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	3	(1,096)	(344)	(1,440)
<b>営業収益純額</b>	<b>149</b>	<b>11,169</b>	<b>474</b>	<b>11,644</b>
営業費用	(101)	(8,285)	(1,258)	(9,543)
Transform 達成費用	(22)	(449)	(120)	(569)
その他の収益純額 <sup>1</sup>	6	30	14	44
<b>税引前利益/(損失)</b>	<b>32</b>	<b>2,465</b>	<b>(890)</b>	<b>1,576</b>
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>250</b>	<b>8,324</b>	<b>5,112</b>	<b>13,436</b>

<sup>1</sup> その他の収益/(費用)は関連会社や合弁会社の税引後損益に対する持分、子会社、関連会社、合弁会社の売却益(損)、合併に係る利益などがあります。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

事業部門別業績の内訳	パーソナル・アンド・ コーポレート・ バンキング	パークレイカード	アフリカ・ バンキング	インベストメント・ バンク		
2013年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)		
保険金控除後の収益合計	4,305	2,019	2,055	5,222		
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(299)	(540)	(274)	38		
<b>営業収益純額</b>	<b>4,006</b>	<b>1,479</b>	<b>1,781</b>	<b>5,260</b>		
営業費用	(2,754)	(874)	(1,230)	(3,193)		
Transform 達成費用	(92)	(5)	(9)	(116)		
その他の収益純額 <sup>1</sup>	37	16	5	-		
<b>税引前利益</b>	<b>1,197</b>	<b>616</b>	<b>547</b>	<b>1,951</b>		
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)		
<b>資産合計</b>	<b>2,883</b>	<b>343</b>	<b>612</b>	<b>5,155</b>		
事業部門別業績の内訳	本社および その他事業	パークレイズ・ コア	パークレイズ・ ノンコア	パークレイズ・ グループ		
2013年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)		
保険金控除後の収益合計	(4)	13,597	1,474	15,071		
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	(1,075)	(556)	(1,631)		
<b>営業収益純額</b>	<b>(4)</b>	<b>12,522</b>	<b>918</b>	<b>13,440</b>		
営業費用	(41)	(8,091)	(1,049)	(9,141)		
Transform 達成費用	-	(223)	(418)	(640)		
その他の(費用)/収益純額 <sup>1</sup>	(2)	56	(124)	(68)		
<b>税引前(損失)/利益</b>	<b>(47)</b>	<b>4,264</b>	<b>(673)</b>	<b>3,591</b>		
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)		
<b>資産合計</b>	<b>456</b>	<b>9,449</b>	<b>6,230</b>	<b>15,679</b>		
調整後ベースから法定ベースへの調整	パークレイズ・ グループ調整後	当グループ自身の信用 度に関する利益/ (損失)	支払保障保険(PPI)に 係る補償引当金	金利ヘッジ商品に係る 補償引当金	のれんの減損	パークレイズ・ グループ法定
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	13,332	52	-	-	-	13,384
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(1,086)	-	-	-	-	(1,086)
<b>営業収益純額</b>	<b>12,246</b>	<b>52</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>12,298</b>
営業費用	(8,383)	-	(900)	-	-	(9,283)
Transform 達成費用	(494)	-	-	-	-	(494)
その他の損失	(20)	-	-	-	-	(20)
<b>利益/(損失)</b>	<b>3,349</b>	<b>52</b>	<b>(900)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2,501</b>
2013年12月31日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	13,084	(306)	-	-	-	12,778
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(1,440)	-	-	-	-	(1,440)
<b>営業収益純額</b>	<b>11,644</b>	<b>(306)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>11,338</b>
営業費用	(9,543)	-	-	-	(79)	(9,622)
Transform 達成費用	(569)	-	-	-	-	(569)
その他の収益	44	-	-	-	-	44
<b>利益/(損失)</b>	<b>1,576</b>	<b>(306)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(79)</b>	<b>1,191</b>
2013年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	15,071	86	-	-	-	15,157
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(1,631)	-	-	-	-	(1,631)
<b>営業収益純額</b>	<b>13,440</b>	<b>86</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>13,526</b>
営業費用	(9,141)	-	(1,350)	(650)	-	(11,141)
Transform 達成費用	(640)	-	-	-	-	(640)
その他の損失	(68)	-	-	-	-	(68)
<b>利益/(損失)</b>	<b>3,591</b>	<b>86</b>	<b>(1,350)</b>	<b>(650)</b>	<b>-</b>	<b>1,677</b>

<sup>1</sup> その他の収益/(損失)は関連会社や合併会社の税引後配分、子会社、関連会社、合併会社の売却に伴う利益もしくは損失、合併によって生じた利益などがあります。